

群馬県宮大横川土地改良事業計画書

(農 業 用 用 排 水)

群 馬 県

目 次

第1章	目 的	1	第2節	営農計画及び土地利用計画	12
第2章	地域及び地積	1	1.	営農計画の概要	12
第1節	地 域	1	2.	土地利用区分	12
第2節	地 積	1	3.	作付方式	13
第3章	現 況	2	4.	生産計画	14
第1節	気 象	2	5.	労働改善計画	14
1.	一般気象	2	第3節	用水計画	15
2.	特殊気象	3	1.	計画基準年	15
第2節	土地状況	4	2.	計画かんがい方式	15
1.	地形、土壌及び侵食の程度	4	3.	計画用水系統	15
2.	土地分類	5	4.	計画用水量	15
3.	土地利用の状況	5	5.	水源計画	16
4.	土地所有の状況	5	第5章	主要工事計画	17
第3節	水利状況	5	第1節	用水施設	17
第4節	道路状況	6	1.	貯水池	17
第5節	地域農業の概況	6	2.	頭首工	17
1.	産業別就業人口	6	3.	揚水機	17
2.	経営農地広狭別農家数及び農地の分散状況 並びに専兼業別農家数	7	4.	用水路	17
3.	動力農機具及び主要家畜頭数	8	5.	その他かんがい施設	17
4.	主要作物作付状況	9	第6章	付帯工事計画	18
5.	農業の動向	10	第7章	工事着手及び完了の予定時期	18
第6節	地域環境の概況	10	第8章	環境との調和についての配慮	18
第4章	一般計画	11	1.	環境との調和への配慮の方針	18
第1節	事業計画の要旨	11	2.	環境との調和への配慮に伴う配慮内容	18
1.	要旨	11	第9章	換地計画の概要	18
2.	事業別面積	11	第10章	事業費の総額及び内訳	19
			第11章	効 用	19
			第12章	関連する事業	20
			第13章	計画図面	20
				位置図	
				計画一般平面図	
				現況計画平面図	
				主要構造図	

第1章 目的

本地区は、国営孺恋農地開発事業孺恋地区にて基盤整備を行った区域である。本地区の防除用水施設は、管路の老朽化による漏水に加えて、小口径管路及び受水槽不足による慢性的な防除用水の不足が発生し、水管理労力と営農労力の負担が重く、担い手への農地集積を拒む要因となっている。このため、本事業により管路の更新整備や受水槽の増設を行い、水管理の省力化及び営農労力の効率化を図ることにより、担い手への農地集積を促進させ、競争力ある「攻めの農業」の実現を図るものである。

第2章 地域の及び地積

第1節 地域

(第1表)

地 域
群馬県 吾妻郡 孺恋村 大字 田代、大笹

第2節 地積

(平成6年10月現在)

(第2表)

市町村名 \ 現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
孺恋村	-	387.2	-	-	-	387.2	地籍による
計	-	387.2	-	-	-	387.2	

第3章 現況

第1節 気象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	田代	かんがい期	かんがい期	非かんがい期	非かんがい期	計 又は平均		備考	
観測期間	S.53年～R.5年	6月～9月		10月～5月					
平均気温 (°C)		16.0°C		1.1°C		7.3°C	年平均		
降水量	平均 (mm)	901.1		562.4		1,463.5			
	基準年 (mm)								
降水日数	平均 (日)	71日		61日		132日			
	基準年 (日)								
根雪期間		一月 一日～ 一月 一日 (一日間)							
無霜期間		3月 28日 ～ 11月 22日 (239日間)					平成3年～令和5年 前橋観測値平均		
最多風向		南西	最大風速 (風向)			15.0m/s (N S)			

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		備考
	数量 (年月日)	発生 確率	数量 (年月日)	発生 確率	数量 (年月日)	発生 確率	数量 (年月日)	発生 確率	数量 (年月日)	発生 確率	
最大日雨量(mm)	408.0 R1. 10. 12		223.0 H19. 9. 6		188.0 S57. 9. 12		185.0 H11. 8. 14		171.0 H10. 8. 14		
最大時間雨量(mm)	53.5 H25. 9. 16		45.0 R1. 10. 12		42.0 H19. 9. 6		40.5 H28. 8. 3		39 H15. 8. 5		
最大連続雨量(mm)	425.5 R1. 10. 11 ～R1. 10. 12		323.0 H19. 9. 6 ～H19. 9. 7		266.0 H13. 9. 9 ～H13. 9. 11		254.0 H11. 9. 14 ～H11. 9. 23		206.0 S57. 9. 11 ～S57. 9. 12		
最大連続干天日数 (日)	29 H9. 10. 13 ～H9. 11. 12		24 H11. 12. 10 ～H12. 1. 2		21 H7. 7. 23 ～H7. 8. 12		21 H10. 12. 25 ～H11. 1. 14		21 S61. 1. 25 ～S61. 2. 14		

第2節 土地状況

1. 地形, 土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

地目	田						畑・その他						受益地標高(m)		備考
	1/1000以下	1/1000~1/100	1/100~1/20	1/20~1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°~8°	8°~15°	15°~20°	20°以上	計	最高	最低	
傾斜区分															
面積(ha)	-	-	-	-	-	-	-	387.2	-	-	-	387.2	1,294.0	1,135.0	
比率(%)	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0			

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表										面積 (ha)	備考
	土 壤 断 面								堆積様式	母 材		
	色	腐 植	礫 層	酸化沈殿物	土 性			泥炭層 黒泥層 グライ層				
					表土 一層	下層土 二層 三層						
上ノ貝統	黒/黄褐	すこぶる 富む	なし	なし	壤質	壤質	—	なし	風積	非固結 火成岩	387.2	
計											387.2	

2. 土地分類

該当なし

3. 土地利用の状況

(令和6年10月現在)

(第4表-3)

土地利用別 市町村別	農 地						山 林		採 草 放牧地 (ha)	原 野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	水 田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	桑 畑 (ha)	その他 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
孺恋村	—	387.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	387.2	
計	—	387.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	387.2	

4. 土地所有の状況

(令和6年10月現在)

(第4表-4)

	個 人 有	市 町 村 有	県 有	国 有		計	備 考
面 積(ha)	387.2	—	—	—		387.2	
受益者数	275	—	—	—		275	
筆 数 (筆)	891	—	—	—		891	
権 利 関 係	所有権	—	—	—		—	
備 考 (関係戸数)	275					275	

第3節 水利状況

該当なし

第4節 道路現況

該当なし

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

資料：令和2年度国勢調査

(令和6年10月現在)

(第7表-1)

項目 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気 ガス 熱供給 水道業 (人)	運輸通 信業 (人)	卸売 小売業 飲食店 (人)	金融 保険業 (人)	不動産 業 (人)	サービ ス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備 考
孺恋村	5,068	1,603	18	6	8	401	134	18	214	426	31	106	1,889	158	56	
計	5,068	1,603	18	6	8	401	134	18	214	426	31	106	1,889	158	56	
比率(%)	100.0	31.6	0.4	0.1	0.2	7.9	2.6	0.4	4.2	8.4	0.6	2.1	37.3	3.1	1.1	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

資料：2020センサス（令和6年10月現在）

（第7表-2-1）

区分 市町村名	農家 総戸数 (戸)	経営農地広狭別農家数 (戸)											自給的農家	例外規定 の適用を 受けるもの
		0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 ha 以上			
孺恋村	506	10	23	35	16	9	15	57	244	86	11		-	
計	506	10	23	35	16	9	15	57	244	86	11	0	-	
比率(%)	100.0%	2.0%	4.5%	6.9%	3.2%	1.8%	3.0%	11.2%	48.2%	17.0%	2.2%	0.0%	-	

資料：2020センサス（令和6年10月現在）

（第7表-2-2）

区分 市町村名	1 経営体当たり平均農用地面積 (ha)						農用地の分散状況		専兼別農家数 (戸)			備 考
	田	畑	樹園地	小 計	草 地	計	1戸当たり 団地数	団地当 り面積 (ha)	専 業	兼 業		
										第 一 種	第 二 種	
孺恋村	0.08	6.53	0.10	6.71	-	6.71	-	-	350	15	106	
計(平均)	0.08	6.53	0.10	6.71	0.00	6.71	-	-	350	15	106	
比率(%)	1.2%	97.3%	1.5%	100.0%	0.0%	100.0%			74.3%	3.2%	22.5%	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(令和6年10月現在)

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具							主要家畜						備考
	乗用トラクター		田植機		自脱型コンバイン			乳用牛		肉用牛		豚		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)		数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	
孺恋村	2,040	523	68	63	35	34		709	9	-	17	-	-	農家戸数 580
計	2,040	523	68	63	35	34		709	9	-	17	-	-	
100戸当たり 数量(台,頭)	352		12		6			122		-		-		
利用戸数 割合(%)	90.2%		10.9%		5.9%			1.6%		2.9%		-		

資料：2015農林センサス 農業用機械を所有している経営体数と所有台数

2015農林センサス 販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数

4. 主要作物作付状況

資料：令和3年統計年報・2020センサス（令和6年10月現在）

（第7表-4）

市町村名		孺恋村				計				平均	作付率 (%)	備考
総農用地面積(ha)		3,374				3,374						
総本地面積(ha)		3,239				3,239						
作物名	区分	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)			
		田	表作	水稻・他	43	488				43	469	1.3
裏作	麦類・他											
小計		43						43		1.3		
畑	春夏作	野菜類	3,070	7,366				3,070		91.0	(キャベツ)	
	秋冬作	葉菜類	23	3,650				23		0.7	(はくさい)	
小計		3,093						3,093		91.7		
樹園地	果樹											
	桑・飼肥料作物等											
計		3,136						3,136		93.0		
市町村別延作付率(%)		93%				93%						

単当たり収量：統計年鑑（令和5年）

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主要作物			家 畜			動力農機具			備 考
	C	B	A	C	B	A	作物名 C	B	A	家畜名 C	B	A	農機具名 C	B	A	
変化の 状 況 C年を 100 とする 指 数	総農家数	92	85	耕地	101	97	水稻	83	250	乳用牛	88	95	トラクター	96	98	A：平成27年 (2015年農業センサス)
	専業農家数	176	176	田	89	77	キャベツ	-	105	肉用牛	88	-	田植機	76	61	B：平成22年 (2010年農業センサス)
	第一種兼業 農家数	32	26	畑	100	97	はくさい	-	84	豚	-	-	自脱型 コンバイン	77	56	C：平成17年 (2005年農業センサス)
	第二種兼業 農家数	82	61	樹園地	100	220	ばれい しょ	62	36							B, C年においては 販売農家を中心と する統計データ で、A年では統計 項目が変わったの で主要作物、畜 産、動力農機具は 比較できない
	農業 従事者数	95	85													
変化の 理由	都市化による他産業 への労働力の流動			都市化による開発、 水田面積の減少			畑作物の振興と 営農改善			生活環境、食肉需要の 変化による			労力の減少に伴う 機械化省力営農の 定着			
地域指定等				<ul style="list-style-type: none"> 酪農肉用牛生産近代化計画(H28.3)・孺恋農業振興地域整備計画(S49.4.8)・農振指定(S47.12.26) 振興山村地域(S47.2.3)・過疎地域(H22.4.1)・豪雪地域(S38.10.30)・野菜指定産地(夏秋キャベツ)(S41.8.18) 野菜指定産地(夏はくさい)(S41.8.18)・野菜指定産地(夏秋レタス)(S44.8.6) 												

第6節 地域環境の概況

本地域は、孺恋村の田園環境整備マスタープランの環境配慮区域にある。また、浅間山をはじめとする2,000m級の名山に囲まれ、森林が広がり豊かな動植物を育てるとともに、雄大なキャベツ畑との自然景観が特徴的である。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

本地域は、群馬県の西北部の嬭恋村に位置し、村を東西に流れる吾妻川左岸の標高1,135～1,295m前後、年平均気温7.3℃、年平均降水量1,464mmの大規模な高冷地農業地帯であり、全国的にも有名な「夏秋キャベツ」の大産地を形成している地域である。

しかし、本地区の防除用水施設は、管路の老朽化による漏水に加えて、小口径管路及び受水槽不足による慢性的な防除用水の不足が発生し、水管理労力と営農労力の負担が重く、担い手への農地集積を拒む要因となっている。このため、本事業により管路の更新整備や受水槽の増設を行い、水管理の省力化及び営農労力の効率化を図ることにより、担い手への農地集積を促進させ、競争力ある「攻めの農業」の実現を図るものである。

2. 事業別面積

(第8表)

土地利用 区分 事業目的	水田 (ha)	普通畑 (ha)	樹園地 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
防除用水	—	387.2	—	—	387.2	
計	—	387.2	—	—	387.2	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区は、国営孺恋農地開発事業孺恋地区にて基盤整備を行った区域である。整備当時と比べ、営農体系が大きく変化し、機械の大型化が進み、作物防除体系も大きく変化しているところである。整備した防除用水施設についても、老朽化が進行し、近年では防除用水が慢性的に不足している状況である。また、布設管路についても、管径不足や老朽化が見られる状況である。そこで、受水槽施設の設置及び管路の布設替えを行い、防除用水の安定的な確保及び維持管理の容易さを図り、農業経営の効率化、安定化を実現し、地域農業の振興・競争力強化を図るものである。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	区分 項目	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	桑園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
用農 排水用	現況	—	387.2	—	—	—	—	387.2	—	—	—	387.2	
	計画	—	387.2	—	—	—	—	387.2	—	—	—	387.2	
計	現況	—	387.2	—	—	—	—	387.2	—	—	—	387.2	
	計画	—	387.2	—	—	—	—	387.2	—	—	—	387.2	

3. 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1 年 目												2 年 目												備 考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
				農業用排水	現況	キャベツ専業	普通畑	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">キャベツ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">キャベツ</div> </div>												<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">キャベツ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">キャベツ</div> </div>								
計画	キャベツ専業	普通畑	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">キャベツ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">キャベツ</div> </div>												<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">キャベツ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">キャベツ</div> </div>													

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目		作物名	作付面積 (ha)		作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)		生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考
	土地利用区分			現況	計画	現況	計画	現況	計画	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり収量増減	
農業用排水	普通畑	春夏作	キャベツ	387.2	387.2	100	100	7,396	7,396	28,637	28,637	0			
		計		387.2	387.2	100	100			28,637	28,637	0			
	普通畑	秋冬作													
		計													
合計				387.2	387.2	100.0	100.0			28,637	28,637	0			

5. 労働改善計画

事業名	項目		作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/ha)				備考
	土地利用区分				区分	現況	計画	増減	
農業用排水	普通畑	キャベツ	387.2	人力	131.04	17.64	△ 113.40	受水槽設置に伴い輸送距離の短縮による輸送費の軽減、及び大型作業機械の利用による防除にかかる営農経費の軽減	
				機械力	65.52	35.28	△ 30.24		
合計				387.2					

第3節 用水計画

1. 計画基準年

該当なし

2. 計画かんがい方式

該当なし

3. 計画用水系統

該当なし

4. 計画用水量

(1) かんがい用水 該当なし

(第10表-1-1)

系統名	項目	種別	面積 (ha)		水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m ³ /s)	損失率 (%)	粗用水量	
					普通期	代播期	面積 (ha)	一日当 たり計 画平均 かん水 深	平均間 断日数	面積 (ha)	一日当 たり計 画平均 かん水 深	平均間 断日数	面積 (ha)	計画平 均単位 用水量 (m ³ /日)	面積 (ha)			平均 (m ³ /s)	最大 (m ³ /s)
			計画平 均単位 用水量 (mm/ 日)	計画代 播単位 用水量 (mm/ 日)	(mm/ 日)	(日)		(mm/ 日)	(日)										
			計																

(2) 営農飲雑用水

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積 (ha)	日 当 給 水 量		補給回数 (回)	関係戸数 (回)	備 考
			単位用水量 (m ³ /日)	最大給水量 (m ³ /日)			
普通畑	防除用水	387.2	282	282	-	275	

5. 水源計画

(1) 水利用計画

- ・ 損失率 : 管路5ロス%

(第10表-2-1)

区分	計 画 (m ³ /s)		備 考
		防除用水	
純用水量	0.0094		損失水量はブロック毎の積み上げ計算による。
有効雨量	—		
損失水量	0.0004		
全用水量	0.0098		
利用可能量		0.0098	
	計	0.0098	
不足量	0		

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

- (1) 貯水池
該当無し
- (2) 頭首工
該当無し
- (3) 揚水機
該当無し
- (4) 用水路
該当無し
- (5) その他かんがい施設

項目 名称	構造	規模	数量	備考
防除用水管路	塩ビ管 VH. VP	100~50mm	L=8.33km	
受水槽設置	FRP製受水槽	14m ³ ~26m ³	4ヶ所	
附帯施設	取水口・減圧施設等	100mm~50mm用減圧水槽	1式	

第6章 付帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手 令和7年度

完了 令和11年度

第8章 環境との調和への配慮

1. 環境との調和への配慮の方針

- 動植物の生息環境や生態系の保全に配慮するとともに、「孀恋村田園環境整備マスタープラン」の自然と歴史を生かしなが
らさらに住みよい地域を目指す。
- 大横川地区環境情報協議会にて、学識経験者・地域住民代表等と自然環境（動植物や景観）の配慮に努めた計画等について
意見交換を実施する。
- 地域住民等の意見を取り入れて事業の推進を図り、地区内に生息する生態系に配慮した整備を行い、多種多様な生物が生息
可能な空間の維持・回復を目的として、生態系に配慮した環境整備を行う。

2. 環境との調和への配慮に伴う配慮内容

- 夏に花を付けることからその期間に工事予定箇所で事前に生育がないか確認をする。
- 施工時に生育を確認した場合は、関係部署、学識経験者に連絡し、移植等適切な対応をすることで、希少種の保全活動
協力していく。
- 施工の際は極力既設の道路上、あるいは農地上で実施する。重機の通路や資材置き場に関しても踏み荒らさないよう配慮
する。
- 事前調査の結果、地区内に希少動植物の生息は確認されなかったが、本地区は「孀恋村田園環境整備マスタープラン」に基
づく環境配慮区域であるため、希少動植物と思われるものが発見された場合は、種を特定した上で工事影響のない場所へ移
動するなどの対策を実施する。

第9章 換地計画の概要

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(単位：千円) (第26表)

事業名	水利施設等保全高度化事業 (農地集積促進型)	備考
工事費	740,000	令和6年度単価
主要工事	740,000	
附帯工事	—	
事務費	37,000	
計	777,000	

第11章 効用

(第27表-1)

区分	増加見込効果額 (千円)	増加見込所得額 (千円)	備考
営農経費節減効果	67,866	62,760	効果算定年度 令和6年度
維持管理節減効果	△ 714	△ 578	
地域用水効果	168		
農業労働環境改善効果	37,489		
計	104,809	62,182	

(参考) 総費用(現在価値) 876,934 千円
 総便益額(現在価値) 1,703,605 千円
 総費用総便益比 1.94

第12章 関連する事業

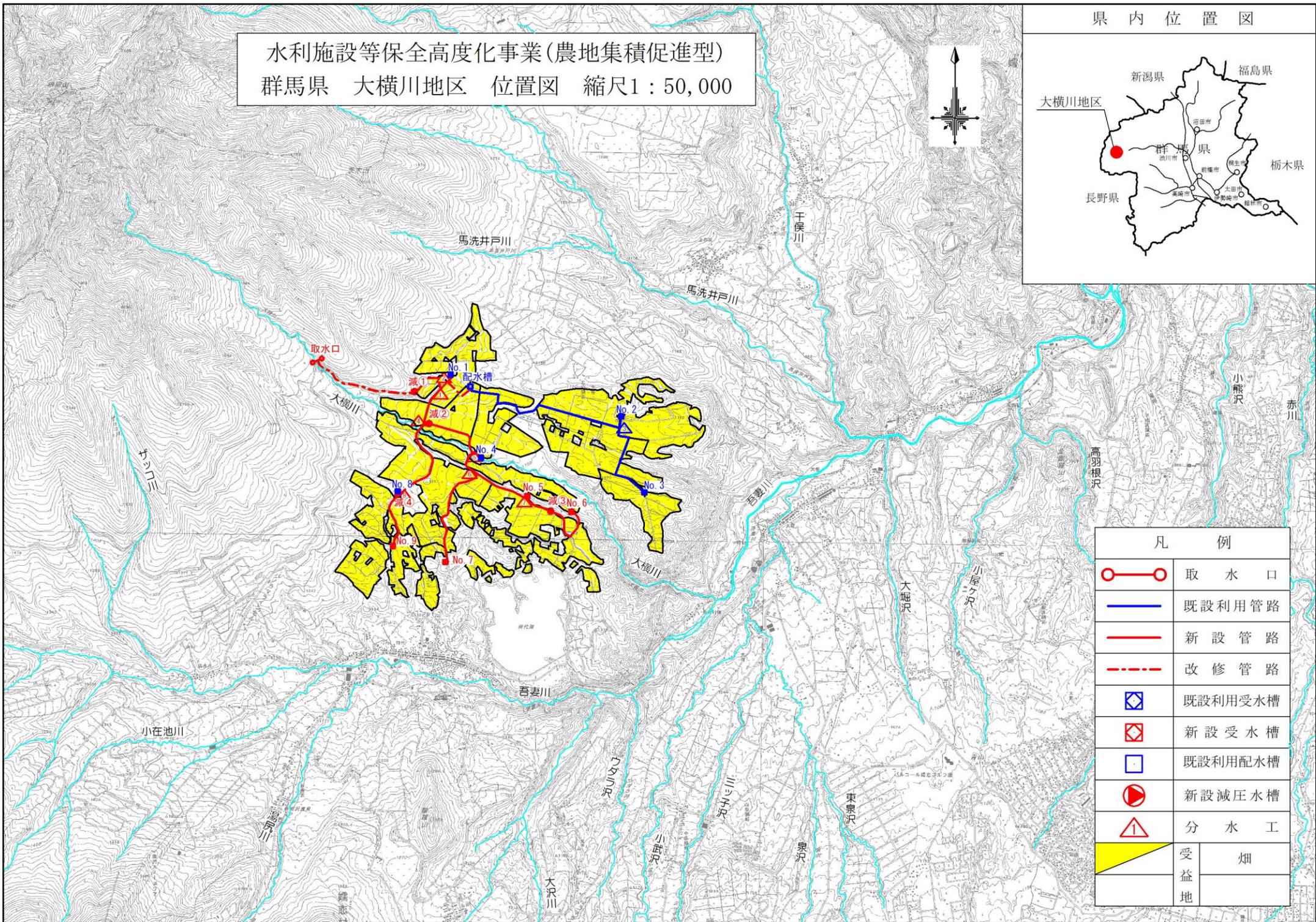
事業名	事業主体名	受益面積	総事業費	事業内容	関連事由
国営農地開発事業 孺恋西部地区	国	h a	千円 35,080,000	防除用水施設等	本事業区域は、この事業の一部区間と同じ受益地である。
国営農地開発事業 孺恋地区	国		30,516,000		
県営孺恋西部地区	群馬県		724,000		

第13章 計画図面

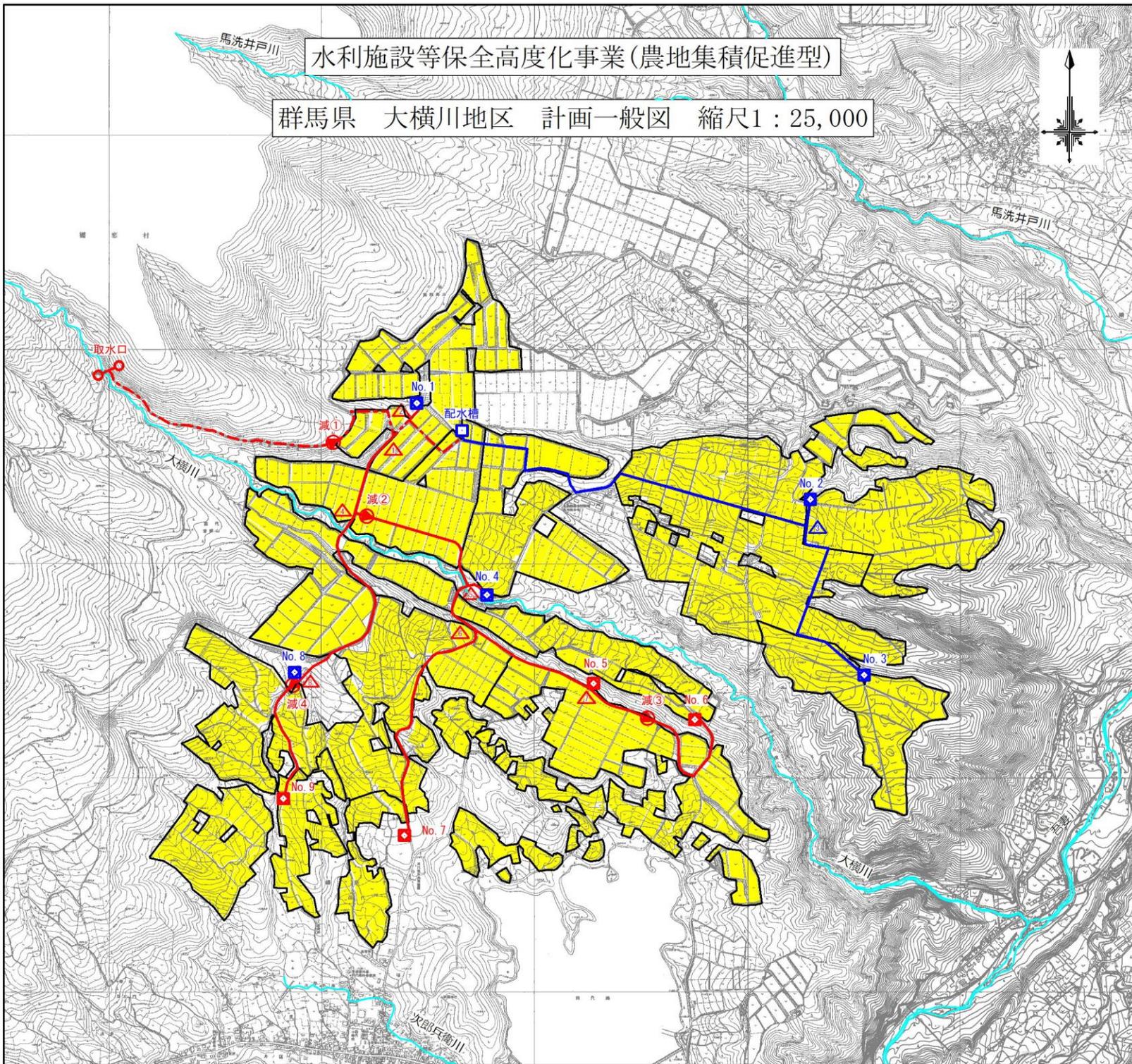
1. 位置図・・・・・・・・添付図面のとおり。
2. 計画一般図・・・・・・・・添付図面のとおり。
3. 現況計画平面図・・・・・・・・添付図面のとおり。
4. 主要構造図・・・・・・・・添付図面のとおり。

水利施設等保全高度化事業(農地集積促進型)
群馬県 大横川地区 位置図 縮尺1 : 50,000

県内位置図



凡 例	
	取 水 口
	既設利用管路
	新 設 管 路
	改 修 管 路
	既設利用受水槽
	新 設 受 水 槽
	既設利用配水槽
	新 設 減 圧 水 槽
	分 水 工
	受 益 地
	畑



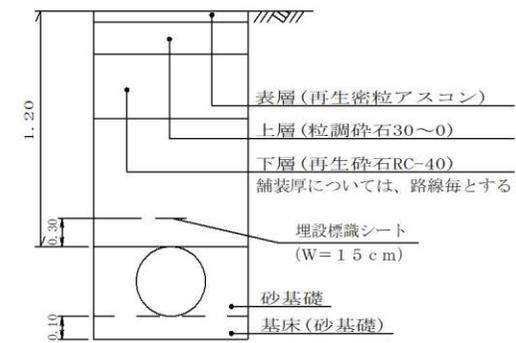
水利施設等保全高度化事業(農地集積促進型)

群馬県 大横川地区 計画一般図 縮尺1:25,000

県内位置図



主要構造図



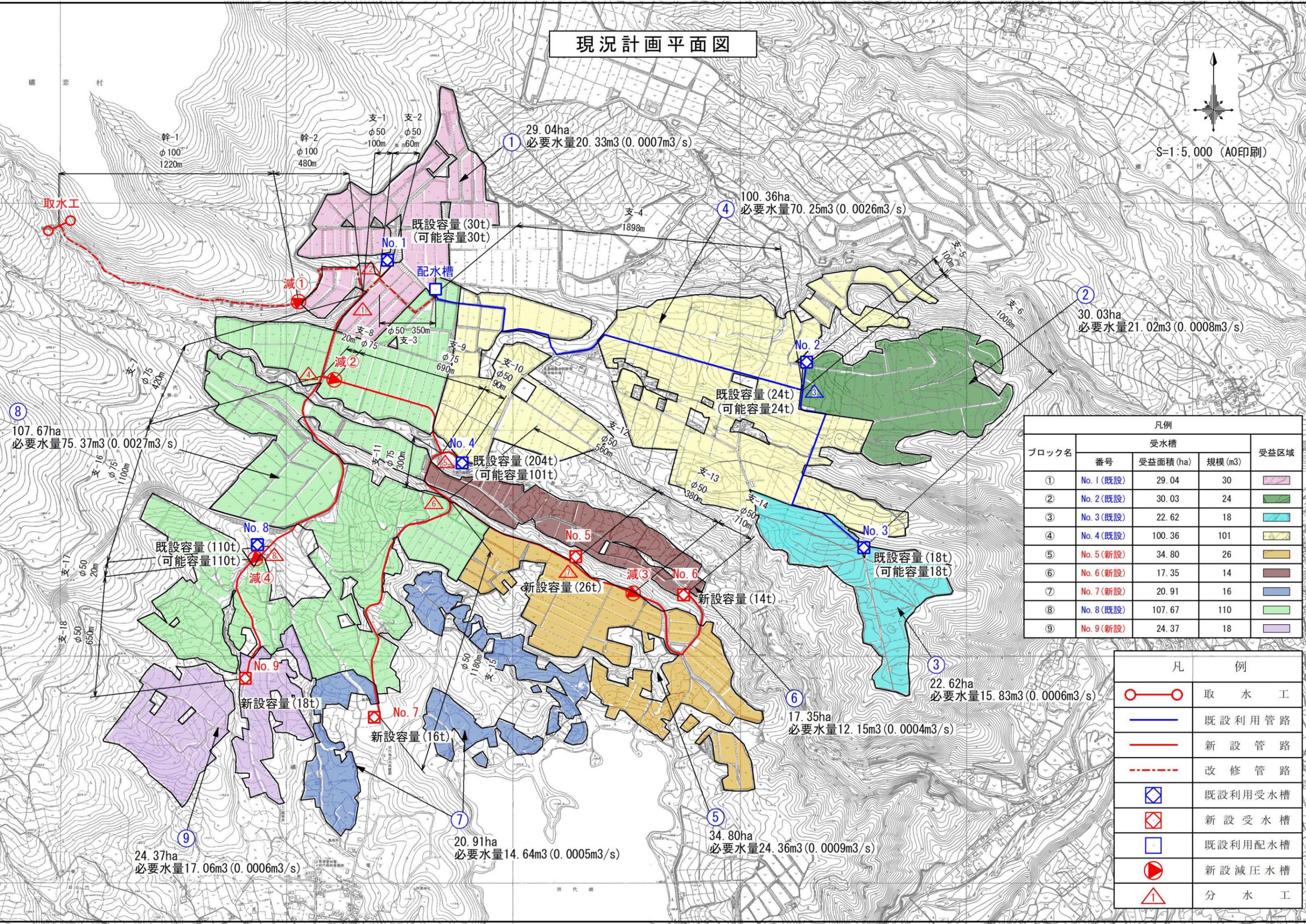
塩化ビニル管
φ100, 75, 50

事業概要	
受益面積	387.2 ha
事業費	789,100千円
管路工	L = 8,330m
受水槽	N = 4基
附帯施設	N = 1式
工事	塩化ビニル管 (VP, VH種管)
関連事業	-
事業主体	群馬県

凡例	
	取水口
	既設利用管路
	新設管路
	改修管路
	既設利用受水槽
	新設受水槽
	既設利用配水槽
	新設減圧水槽
	分水工
	受益地

現況計画平面図

S=1:5,000 (A0印刷)



凡例				
ブロック名	受水槽			受益区域
	番号	受益面積 (ha)	規模 (m3)	
①	No. 1 (既設)	29.04	30	
②	No. 2 (既設)	30.03	24	
③	No. 3 (既設)	22.62	18	
④	No. 4 (既設)	100.36	101	
⑤	No. 5 (新設)	34.80	26	
⑥	No. 6 (新設)	17.35	14	
⑦	No. 7 (新設)	20.91	16	
⑧	No. 8 (既設)	107.67	110	
⑨	No. 9 (新設)	24.37	18	

凡例	
	取水工
	既設利用管路
	新設管路
	改修管路
	既設利用受水槽
	新設受水槽
	既設利用配水槽
	新設減圧水槽
	分水工

取水工
 幹-1 φ100 1220m
 幹-2 φ100 480m
 支-1 φ50 100m
 支-2 φ50 60m
 支-3 φ50 350m
 支-4 1899m
 支-5 100m
 支-6 100m
 支-7 φ75 420m
 支-8 φ75 20m
 支-9 φ75 690m
 支-10 φ50 90m
 支-11 φ75 300m
 支-12 φ50 560m
 支-13 φ50 380m
 支-14 φ50 710m
 支-15 φ50 1180m
 支-16 φ75 1100m
 支-17 φ50 20m
 支-18 φ50 650m

⑧ 107.67ha
 必要水量75.37m³ (0.0027m³/s)
 既設容量(110t)
 (可能容量110t)
 ⑨ 24.37ha
 必要水量17.06m³ (0.0006m³/s)
 新設容量(18t)

① 29.04ha
 必要水量20.33m³ (0.0007m³/s)
 既設容量(30t)
 (可能容量30t)

④ 100.36ha
 必要水量70.25m³ (0.0026m³/s)
 既設容量(24t)
 (可能容量24t)

② 30.03ha
 必要水量21.02m³ (0.0008m³/s)
 既設容量(24t)
 (可能容量24t)

④ 既設容量(204t)
 (可能容量101t)

③ 既設容量(18t)
 (可能容量18t)

⑤ 新設容量(26t)

⑥ 新設容量(14t)

③ 22.62ha
 必要水量15.83m³ (0.0006m³/s)

⑥ 17.35ha
 必要水量12.15m³ (0.0004m³/s)

⑦ 20.91ha
 必要水量14.64m³ (0.0005m³/s)
 新設容量(16t)

⑤ 34.80ha
 必要水量24.36m³ (0.0009m³/s)

令和7年度新規採択希望
水利施設等保全高度化事業(農地集積促進型)

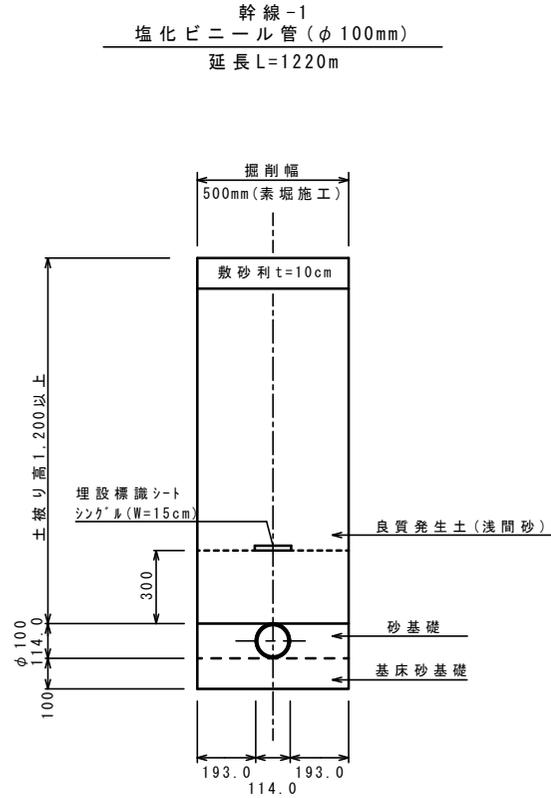
大横川地区 標準構造図集

群馬県

標準断面図 幹線-1

土工断面図(φ100区間)

【敷砂利舗装道路】



土工数量 左図より算出 m当り

名称	数量	摘要
V1 機械掘削	0.757m ³	
V2 掘削面整形	0.500m ²	
V3 埋戻転圧(敷~管上)	0.097m ³	人力(砂基礎)
V4 埋戻転圧(管上~路盤)	0.600m ³	機械(良質発生土:浅間砂)
V5 残土処理	0.091m ³	V1-(V4*1.11)

舗装復旧数量 m当り

名称	数量	摘要
敷砂利復旧(t=10cm)	0.500m ²	再生砕石RC-40

※土工数量については土被り高1.30mで計算(平均値として)

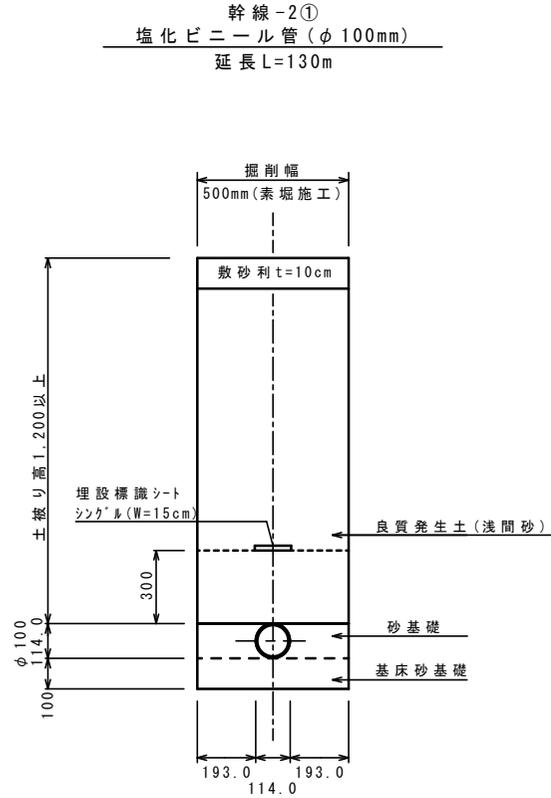
図面の名称	埋設タイプ
標準断面図(幹線-1) 土工断面図(φ100区間) 【敷砂利舗装道路】	1

標準断面図

幹線-2①

土工断面図(φ100区間)

【敷砂利舗装道路】



土工数量 左図より算出 m当り

名称	数量	摘要
V1 機械掘削	0.757m ³	
V2 掘削面整形	0.500m ²	
V3 埋戻転圧(敷~管上)	0.097m ³	人力(砂基礎)
V4 埋戻転圧(管上~路盤)	0.600m ³	機械(良質発生土:浅間砂)
V5 残土処理	0.091m ³	V1-(V4*1.11)

舗装復旧数量 m当り

名称	数量	摘要
敷砂利復旧(t=10cm)	0.500m ²	再生砕石RC-40

※土工数量については土被り高1.30mで計算(平均値として)

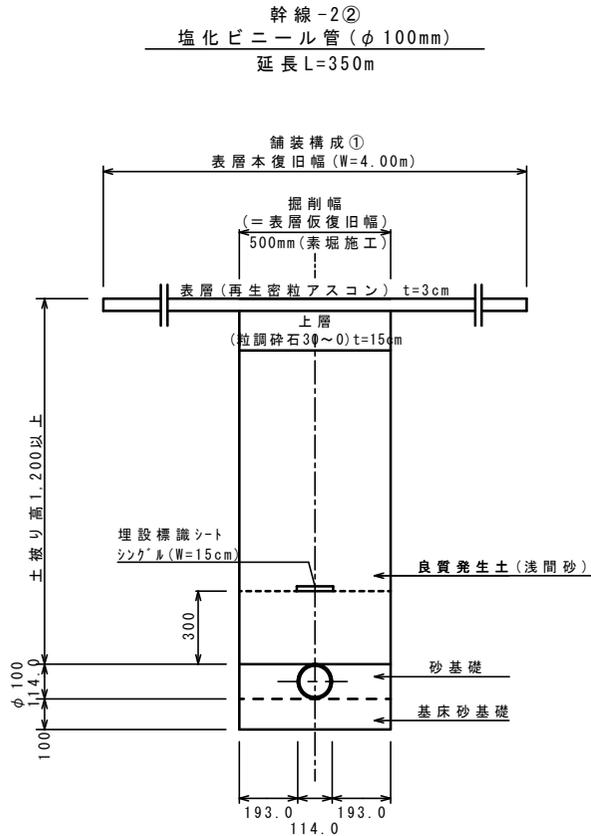
図面の名称	埋設タイプ
標準断面図(幹線-2①) 土工断面図(φ100区間) 【敷砂利舗装道路】	2

標準断面図

幹線-2②

土工断面図(φ100区間)

【AS舗装道路】



土工数量 左図より算出 m当り

名称	数量	摘要
V1 機械掘削	0.742m ³	
V2 掘削面整形	0.500m ²	
V3 埋戻転圧(敷~管上)	0.097m ³	人力(砂基礎)
V4 埋戻転圧(管上~路盤)	0.560m ³	機械(良質発生土:浅間砂)
V5 残土処理	0.120m ³	V1-(V4*1.11)

取壊し数量 m当り

名称	数量	摘要
舗装カット	2.000m	両側
舗装取壊し(t=3cm)	0.500m ²	仮復旧
舗装取壊し(t=3cm)	4.000m ²	本復旧

舗装復旧数量 m当り

名称	数量	摘要
表層本復旧(t=3cm)	4.000m ²	再生密粒アスコン
表層仮復旧(t=3cm)	0.500m ²	再生密粒アスコン
上層復旧(t=15cm仮復旧時)	0.500m ²	粒調30~0

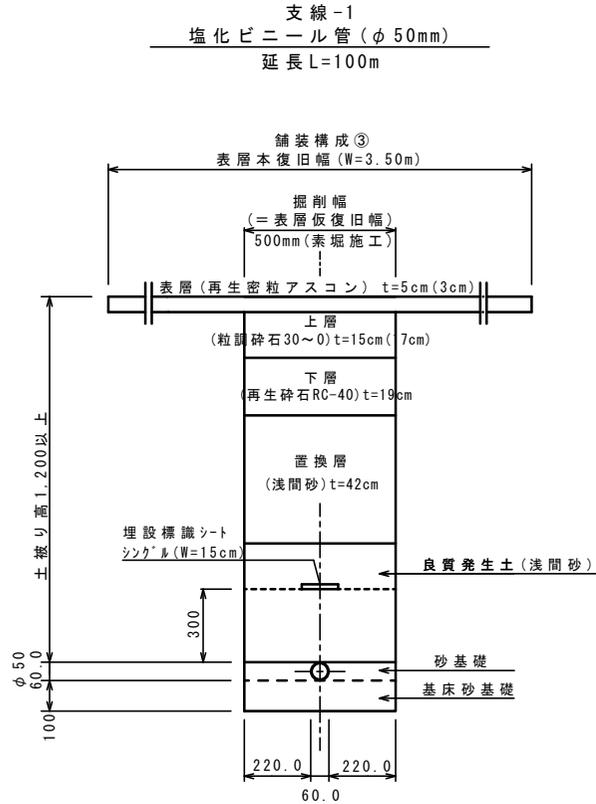
※土工数量については土被高1.30mで計算(平均値として)

図面の名称	埋設タイプ
標準断面図(幹線-2②) 土工断面図(φ100区間) 【AS舗装道路】	3

標準断面図 支線-1

土工断面図(φ50区間)

【AS舗装道路】



土工数量 左図より算出 m当り

名称	数量	摘要
V1 機械掘削	0.705m ³	
V2 掘削面整形	0.500m ²	
V3 埋戻転圧(敷~管上)	0.077m ³	人力(砂基礎)
V4 埋戻転圧(管上~路盤)	0.245m ³	機械(良質発生土:浅間砂)
V5 残土処理	0.433m ³	V1-(V4*1.11)

取壊し数量 m当り

名称	数量	摘要
舗装カット	2.000m	両側仮復旧
舗装カット	1.000m	片側本復旧
舗装取壊し(t=3cm)	0.500m ²	仮復旧
舗装取壊し(t=5cm)	3.500m ²	本復旧

舗装復旧数量 m当り

名称	数量	摘要
表層本復旧(t=5cm)	3.500m ²	再生密粒アスコン
表層仮復旧(t=3cm)	0.500m ²	再生密粒アスコン
上層復旧(t=17cm仮復旧時)	0.500m ²	粒調30~0
下層復旧(t=19cm)	0.500m ²	再生碎石RC-40
置換工(t=42cm)	0.210m ³	浅間砂

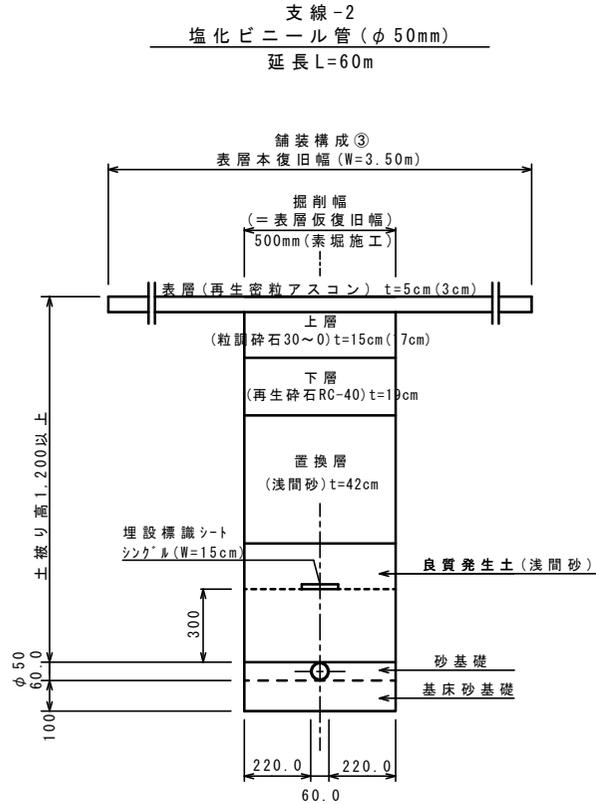
*土工数量については土被高1.30mで計算(平均値として)

図面の名称	埋設タイプ
標準断面図(支線-1) 土工断面図(φ50区間) 【AS舗装道路】	4

標準断面図 支線-2

土工断面図(φ50区間)

【AS舗装道路】



土工数量 左図より算出 m当り

名称	数量	摘要
V1 機械掘削	0.705m ³	
V2 掘削面整形	0.500m ²	
V3 埋戻転圧(敷~管上)	0.077m ³	人力(砂基礎)
V4 埋戻転圧(管上~路盤)	0.245m ³	機械(良質発生土:浅間砂)
V5 残土処理	0.433m ³	V1-(V4*1.11)

取壊し数量 m当り

名称	数量	摘要
舗装カット	2.000m	両側仮復旧
舗装カット	1.000m	片側本復旧
舗装取壊し(t=3cm)	0.500m ²	仮復旧
舗装取壊し(t=5cm)	3.500m ²	本復旧

舗装復旧数量 m当り

名称	数量	摘要
表層本復旧(t=5cm)	3.500m ²	再生密粒アスコン
表層仮復旧(t=3cm)	0.500m ²	再生密粒アスコン
上層復旧(t=17cm仮復旧時)	0.500m ²	粒調30~0
下層復旧(t=19cm)	0.500m ²	再生碎石RC-40
置換工(t=42cm)	0.210m ³	浅間砂

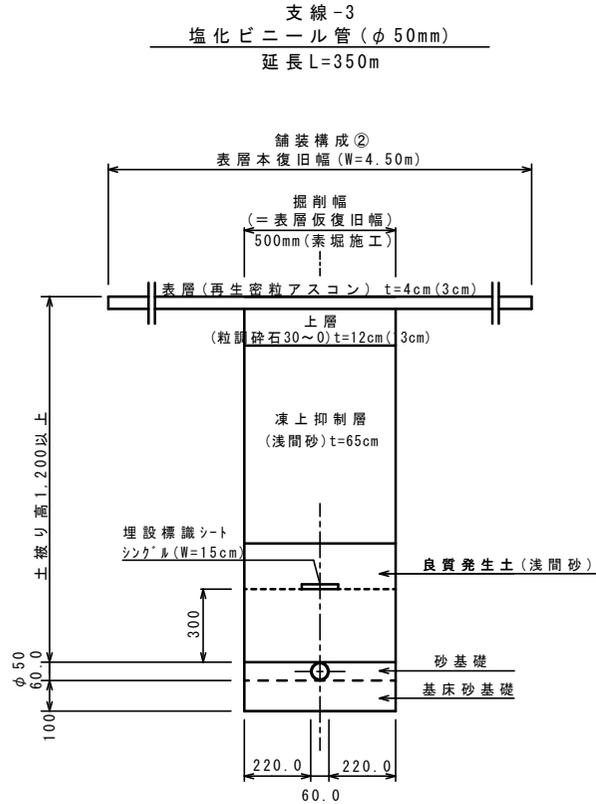
※土工数量については土被高1.30mで計算(平均値として)

図面の名称	埋設タイプ
標準断面図(支線-2) 土工断面図(φ50区間) 【AS舗装道路】	5

標準断面図 支線-3

土工断面図(φ50区間)

【AS舗装道路】



土工数量 左図より算出 m当り

名称	数量	摘要
V1 機械掘削	0.710m ³	
V2 掘削面整形	0.500m ²	
V3 埋戻転圧(敷~管上)	0.077m ³	人力(砂基礎)
V4 埋戻転圧(管上~路盤)	0.245m ³	機械(良質発生土:浅間砂)
V5 残土処理	0.438m ³	V1-(V4*1.11)

取壊し数量 m当り

名称	数量	摘要
舗装カット	2.000m	両側
舗装取壊し(t=3cm)	0.500m ²	仮復旧
舗装取壊し(t=4cm)	4.500m ²	本復旧

舗装復旧数量 m当り

名称	数量	摘要
表層本復旧(t=4cm)	4.500m ²	再生密粒アスコン
表層仮復旧(t=3cm)	0.500m ²	再生密粒アスコン
上層復旧(t=13cm仮復旧時)	0.500m ²	粒調30~0
凍上抑制層(t=65cm)	0.325m ³	浅間砂

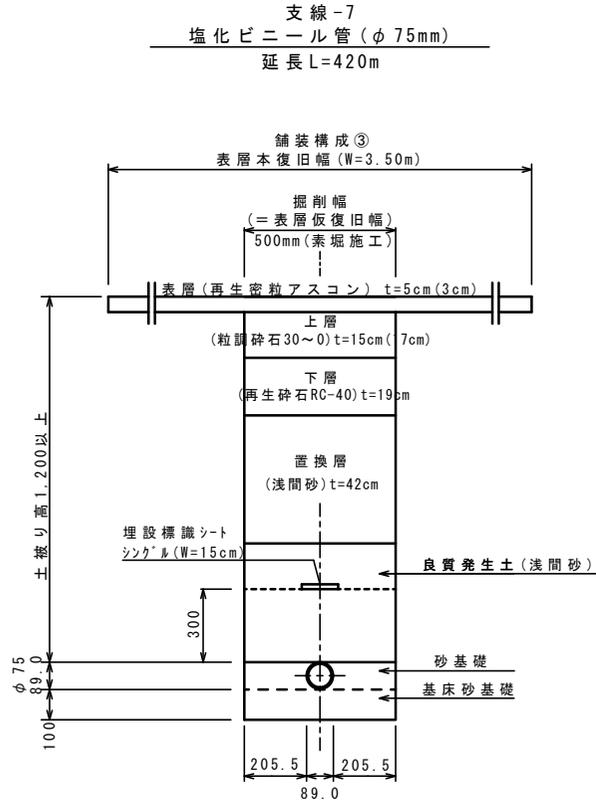
※土工数量については土被高1.30mで計算(平均値として)

図面の名称	埋設タイプ
標準断面図(支線-3) 土工断面図(φ50区間) 【AS舗装道路】	6

標準断面図 支線-7

土工断面図(φ75区間)

【AS舗装道路】



土工数量 左図より算出 m当り

名称	数量	摘要
V1 機械掘削	0.720m ³	
V2 掘削面整形	0.500m ²	
V3 埋戻転圧(敷~管上)	0.088m ³	人力(砂基礎)
V4 埋戻転圧(管上~路盤)	0.245m ³	機械(良質発生土:浅間砂)
V5 残土処理	0.448m ³	V1-(V4*1.11)

取壊し数量 m当り

名称	数量	摘要
舗装カット	2.000m	両側仮復旧
舗装カット	1.000m	片側本復旧
舗装取壊し(t=3cm)	0.500m ²	仮復旧
舗装取壊し(t=5cm)	3.500m ²	本復旧

舗装復旧数量 m当り

名称	数量	摘要
表層本復旧(t=5cm)	3.500m ²	再生密粒アスコン
表層仮復旧(t=3cm)	0.500m ²	再生密粒アスコン
上層復旧(t=17cm仮復旧時)	0.500m ²	粒調30~0
下層復旧(t=19cm)	0.500m ²	再生碎石RC-40
置換工(t=42cm)	0.210m ³	浅間砂

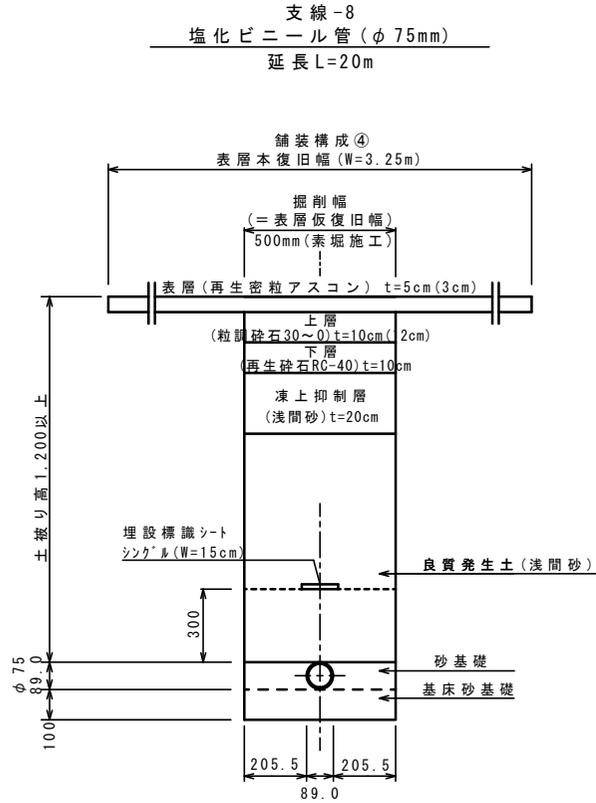
※土工数量については土被高1.30mで計算(平均値として)

図面の名称	埋設タイプ
標準断面図(支線-7) 土工断面図(φ75区間) 【AS舗装道路】	7

標準断面図 支線-8

土工断面図(φ75区間)

【AS舗装道路】



土工数量 左図より算出 m当り

名称	数量	摘要
V1 機械掘削	0.720m ³	
V2 掘削面整形	0.500m ²	
V3 埋戻転圧(敷~管上)	0.088m ³	人力(砂基礎)
V4 埋戻転圧(管上~路盤)	0.425m ³	機械(良質発生土:浅間砂)
V5 残土処理	0.248m ³	V1-(V4*1.11)

取壊し数量 m当り

名称	数量	摘要
舗装カット	2.000m	両側
舗装取壊し(t=3cm)	0.500m ²	仮復旧
舗装取壊し(t=5cm)	3.250m ²	本復旧

舗装復旧数量 m当り

名称	数量	摘要
表層本復旧(t=5cm)	3.250m ²	再生密粒アスコン
表層仮復旧(t=3cm)	0.500m ²	再生密粒アスコン
上層復旧(t=12cm仮復旧時)	0.500m ²	粒調30~0
下層復旧(t=10cm)	0.500m ²	再生砕石RC-40
凍上抑制層(t=20cm)	0.100m ³	浅間砂

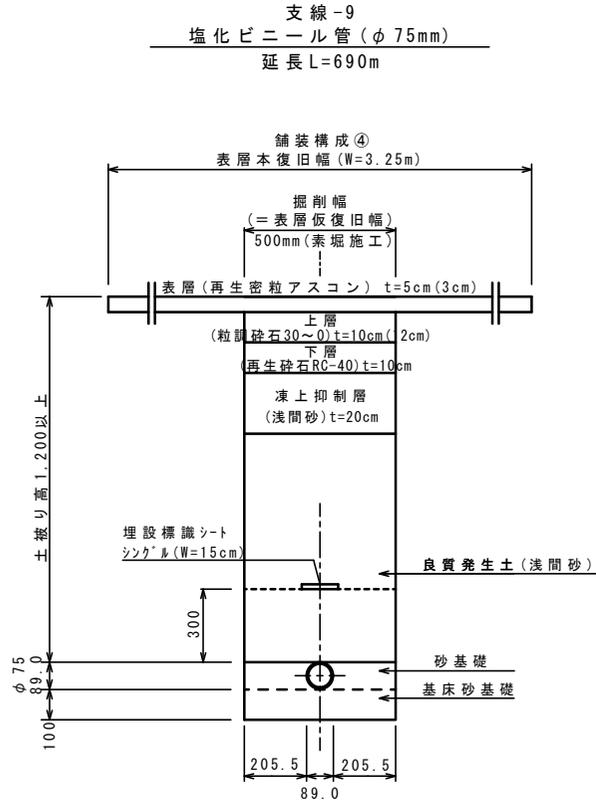
※土工数量については土被高1.30mで計算(平均値として)

図面の名称	埋設タイプ
標準断面図(支線-8) 土工断面図(φ75区間) 【AS舗装道路】	8

標準断面図 支線-9

土工断面図(φ75区間)

【AS舗装道路】



土工数量 左図より算出 m 当り

名称	数量	摘要
V1 機械掘削	0.720m ³	
V2 掘削面整形	0.500m ²	
V3 埋戻転圧(敷~管上)	0.088m ³	人力(砂基礎)
V4 埋戻転圧(管上~路盤)	0.425m ³	機械(良質発生土:浅間砂)
V5 残土処理	0.248m ³	V1-(V4*1.11)

取壊し数量 m 当り

名称	数量	摘要
舗装カット	2.000m	両側
舗装取壊し(t=3cm)	0.500m ²	仮復旧
舗装取壊し(t=5cm)	3.250m ²	本復旧

舗装復旧数量 m 当り

名称	数量	摘要
表層本復旧(t=5cm)	3.250m ²	再生密粒アスコン
表層仮復旧(t=3cm)	0.500m ²	再生密粒アスコン
上層復旧(t=12cm仮復旧時)	0.500m ²	粒調30~0
下層復旧(t=10cm)	0.500m ²	再生砕石RC-40
凍上抑制層(t=20cm)	0.100m ³	浅間砂

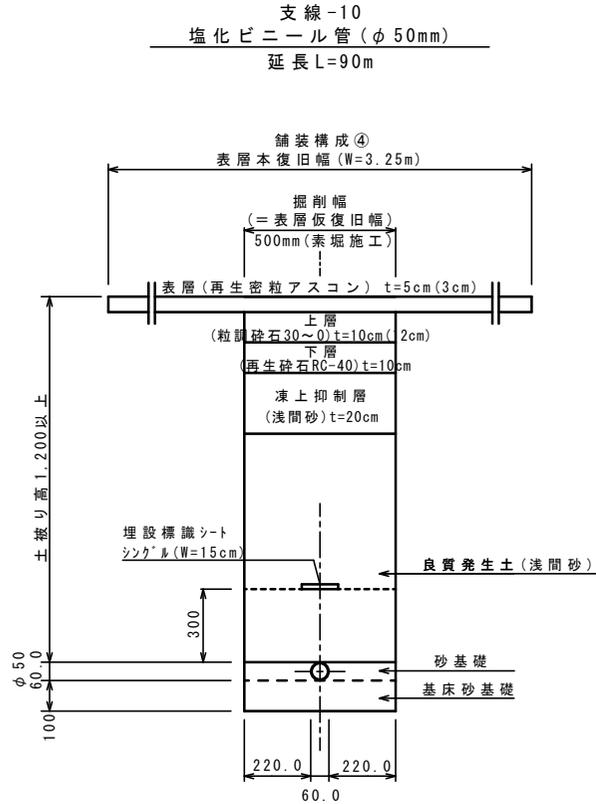
※土工数量については土被高1.30mで計算(平均値として)

図面の名称	埋設タイプ
標準断面図(支線-9) 土工断面図(φ75区間) 【AS舗装道路】	9

標準断面図 支線-10

土工断面図(φ100区間)

【AS舗装道路】



土工数量 左図より算出 m当り

名称	数量	摘要
V1 機械掘削	0.705m ³	
V2 掘削面整形	0.500m ²	
V3 埋戻転圧(敷~管上)	0.077m ³	人力(砂基礎)
V4 埋戻転圧(管上~路盤)	0.425m ³	機械(良質発生土:浅間砂)
V5 残土処理	0.233m ³	V1-(V4*1.11)

取壊し数量 m当り

名称	数量	摘要
舗装カット	2.000m	両側
舗装取壊し(t=3cm)	0.500m ²	仮復旧
舗装取壊し(t=5cm)	3.250m ²	本復旧

舗装復旧数量 m当り

名称	数量	摘要
表層本復旧(t=5cm)	3.250m ²	再生密粒アスコン
表層仮復旧(t=3cm)	0.500m ²	再生密粒アスコン
上層復旧(t=12cm仮復旧時)	0.500m ²	粒調30~0
下層復旧(t=10cm)	0.500m ²	再生砕石RC-40
凍上抑制層(t=20cm)	0.100m ³	浅間砂

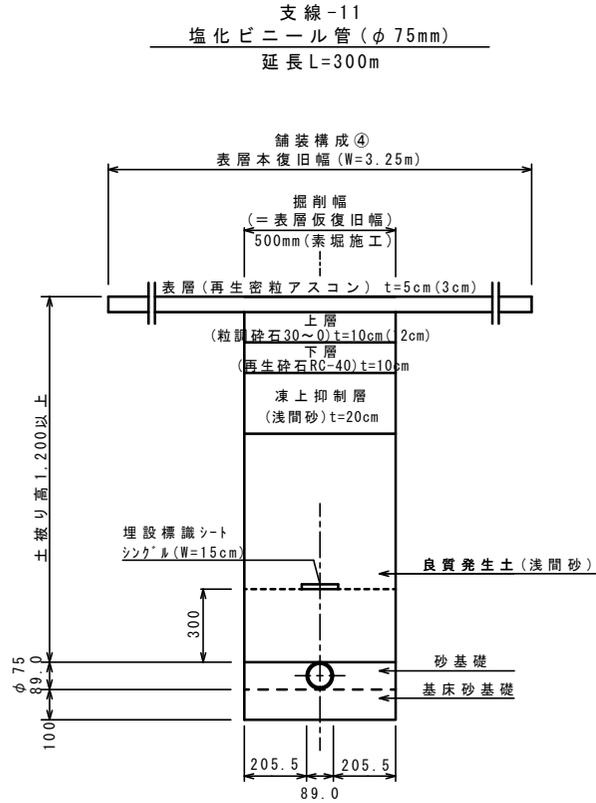
※土工数量については土被高1.30mで計算(平均値として)

図面の名称	埋設タイプ
標準断面図(支線-10) 土工断面図(φ50区間) 【AS舗装道路】	10

標準断面図 支線-11

土工断面図(φ75区間)

【AS舗装道路】



土工数量 左図より算出 m当り

名称	数量	摘要
V1 機械掘削	0.720m ³	
V2 掘削面整形	0.500m ²	
V3 埋戻転圧(敷~管上)	0.088m ³	人力(砂基礎)
V4 埋戻転圧(管上~路盤)	0.425m ³	機械(良質発生土:浅間砂)
V5 残土処理	0.248m ³	V1-(V4*1.11)

取壊し数量 m当り

名称	数量	摘要
舗装カット	2.000m	両側
舗装取壊し(t=3cm)	0.500m ²	仮復旧
舗装取壊し(t=5cm)	3.250m ²	本復旧

舗装復旧数量 m当り

名称	数量	摘要
表層本復旧(t=5cm)	3.250m ²	再生密粒アスコン
表層仮復旧(t=3cm)	0.500m ²	再生密粒アスコン
上層復旧(t=12cm仮復旧時)	0.500m ²	粒調30~0
下層復旧(t=10cm)	0.500m ²	再生砕石RC-40
凍上抑制層(t=20cm)	0.100m ³	浅間砂

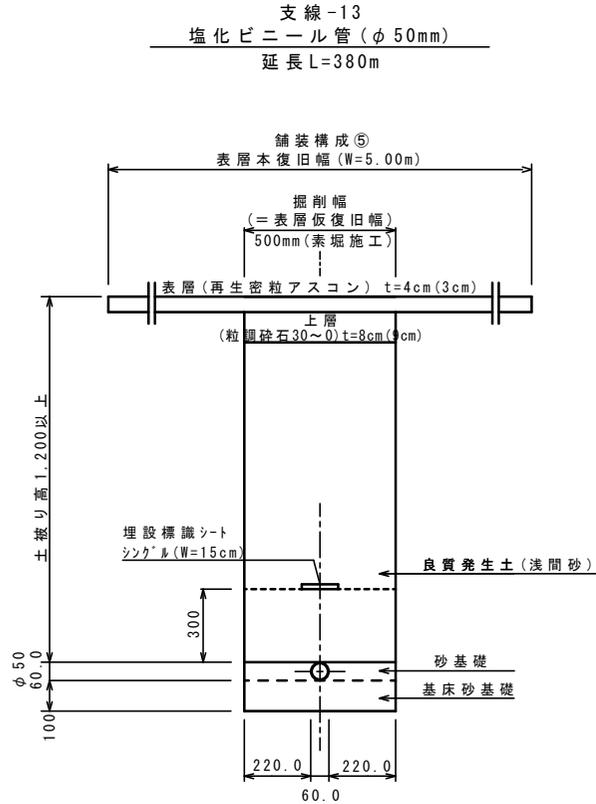
※土工数量については土被高1.30mで計算(平均値として)

図面の名称	埋設タイプ
標準断面図(支線-11) 土工断面図(φ75区間) 【AS舗装道路】	11

標準断面図 支線-13

土工断面図(φ50区間)

【AS舗装道路】



土工数量 左図より算出 m当り

名称	数量	摘要
V1 機械掘削	0.710m ³	
V2 掘削面整形	0.500m ²	
V3 埋戻転圧(敷~管上)	0.077m ³	人力(砂基礎)
V4 埋戻転圧(管上~路盤)	0.590m ³	機械(良質発生土:浅間砂)
V5 残土処理	0.055m ³	V1-(V4*1.11)

取壊し数量 m当り

名称	数量	摘要
舗装カット	2.000m	両側
舗装取壊し(t=3cm)	0.500m ²	仮復旧
舗装取壊し(t=4cm)	5.000m ²	本復旧

舗装復旧数量 m当り

名称	数量	摘要
表層本復旧(t=4cm)	5.000m ²	再生密粒アスコン
表層仮復旧(t=3cm)	0.500m ²	再生密粒アスコン
上層復旧(t=9cm仮復旧時)	0.500m ²	粒調30~0

※土工数量については土被り高1.30mで計算(平均値として)

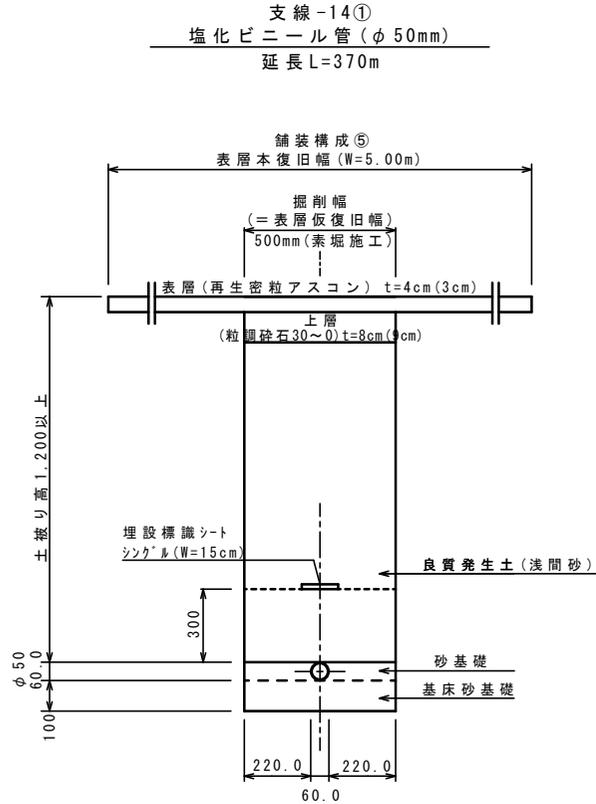
図面の名称	埋設タイプ
標準断面図(支線-13) 土工断面図(φ50区間) 【AS舗装道路】	13

標準断面図

支線-14①

土工断面図(φ50区間)

【AS舗装道路】



土工数量 左図より算出 m当り

名称	数量	摘要
V1 機械掘削	0.710m ³	
V2 掘削面整形	0.500m ²	
V3 埋戻転圧(敷~管上)	0.077m ³	人力(砂基礎)
V4 埋戻転圧(管上~路盤)	0.590m ³	機械(良質発生土:浅間砂)
V5 残土処理	0.055m ³	V1-(V4*1.11)

取壊し数量 m当り

名称	数量	摘要
舗装カット	2.000m	両側
舗装取壊し(t=3cm)	0.500m ²	仮復旧
舗装取壊し(t=4cm)	5.000m ²	本復旧

舗装復旧数量 m当り

名称	数量	摘要
表層本復旧(t=4cm)	5.000m ²	再生密粒アスコン
表層仮復旧(t=3cm)	0.500m ²	再生密粒アスコン
上層復旧(t=9cm仮復旧時)	0.500m ²	粒調30~0

※土工数量については土被り高1.30mで計算(平均値として)

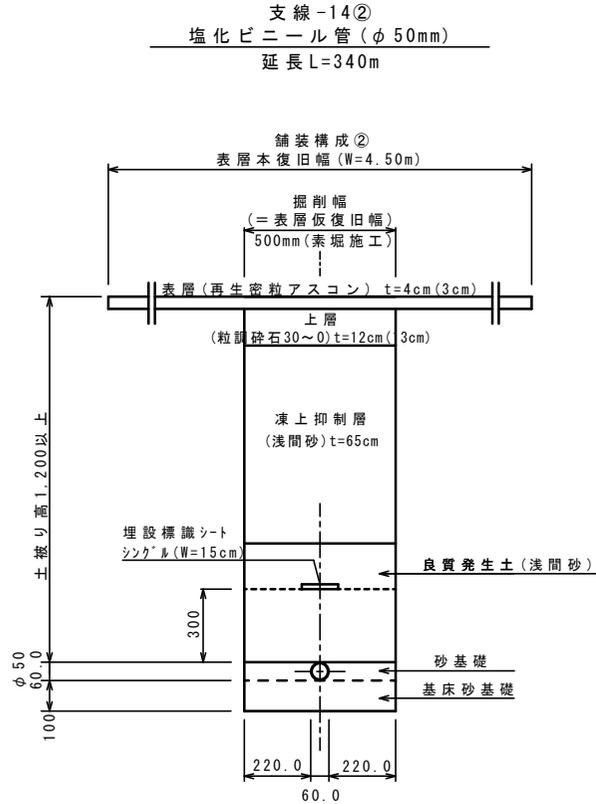
図面の名称	埋設タイプ
標準断面図(支線-14①) 土工断面図(φ50区間) 【AS舗装道路】	14

標準断面図

支線-14②

土工断面図(φ50区間)

【AS舗装道路】



土工数量 左図より算出 m当り

名称	数量	摘要
V1 機械掘削	0.710m ³	
V2 掘削面整形	0.500m ²	
V3 埋戻転圧(敷~管上)	0.077m ³	人力(砂基礎)
V4 埋戻転圧(管上~路盤)	0.245m ³	機械(良質発生土:浅間砂)
V5 残土処理	0.438m ³	V1-(V4*1.11)

取壊し数量 m当り

名称	数量	摘要
舗装カット	2.000m	両側
舗装取壊し(t=3cm)	0.500m ²	仮復旧
舗装取壊し(t=4cm)	4.500m ²	本復旧

舗装復旧数量 m当り

名称	数量	摘要
表層本復旧(t=4cm)	4.500m ²	再生密粒アスコン
表層仮復旧(t=3cm)	0.500m ²	再生密粒アスコン
上層復旧(t=13cm仮復旧時)	0.500m ²	粒調30~0
凍上抑制層(t=65cm)	0.325m ³	浅間砂

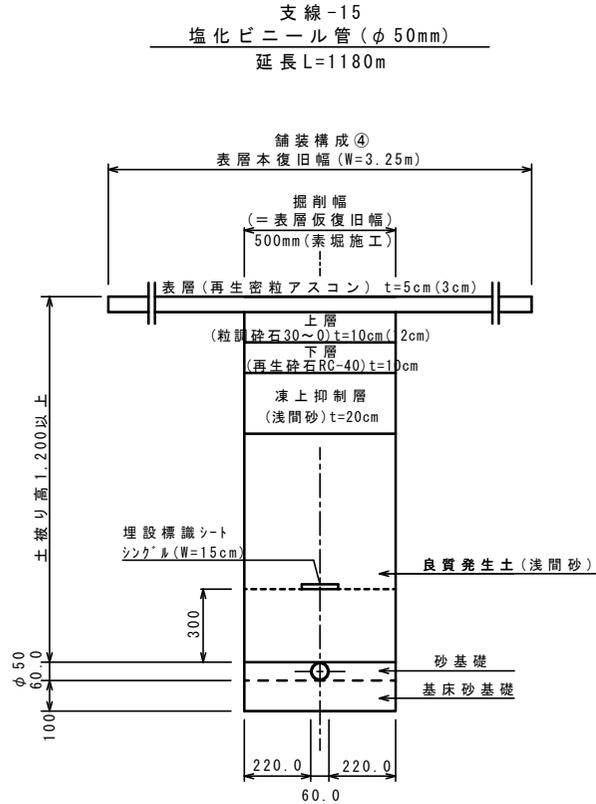
※土工数量については土被高1.30mで計算(平均値として)

図面の名称	埋設タイプ
標準断面図(支線-14②) 土工断面図(φ50区間) 【AS舗装道路】	15

標準断面図 支線-15

土工断面図(φ50区間)

【AS舗装道路】



土工数量 左図より算出 m当り

名称	数量	摘要
V1 機械掘削	0.705m ³	
V2 掘削面整形	0.500m ²	
V3 埋戻転圧(敷~管上)	0.077m ³	人力(砂基礎)
V4 埋戻転圧(管上~路盤)	0.425m ³	機械(良質発生土:浅間砂)
V5 残土処理	0.233m ³	V1-(V4*1.11)

取壊し数量 m当り

名称	数量	摘要
舗装カット	2.000m	両側
舗装取壊し(t=3cm)	0.500m ²	仮復旧
舗装取壊し(t=5cm)	3.250m ²	本復旧

舗装復旧数量 m当り

名称	数量	摘要
表層本復旧(t=5cm)	3.250m ²	再生密粒アスコン
表層仮復旧(t=3cm)	0.500m ²	再生密粒アスコン
上層復旧(t=12cm仮復旧時)	0.500m ²	粒調30~0
下層復旧(t=10cm)	0.500m ²	再生砕石RC-40
凍上抑制層(t=20cm)	0.100m ³	浅間砂

※土工数量については土被高1.30mで計算(平均値として)

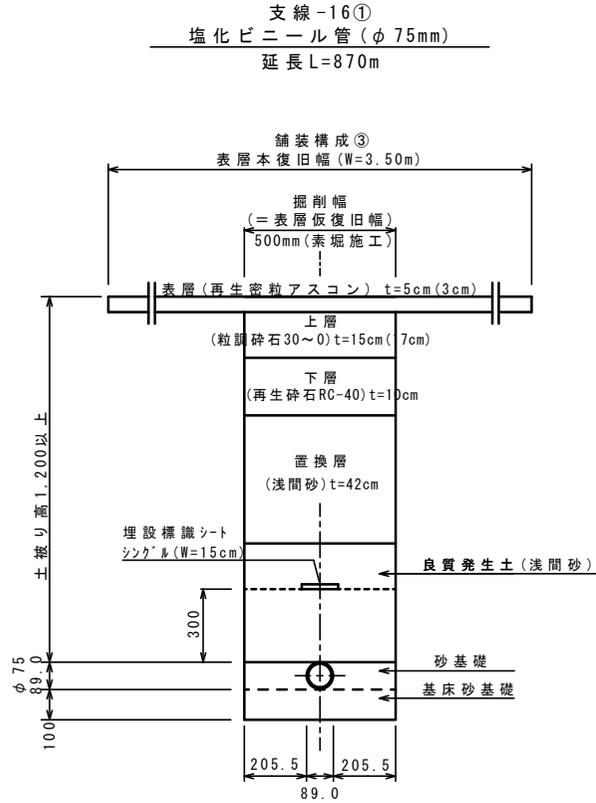
図面の名称	埋設タイプ
標準断面図(支線-15) 土工断面図(φ50区間) 【AS舗装道路】	16

標準断面図

支線-16①

土工断面図(φ75区間)

【AS舗装道路】



土工数量 左図より算出 m当り

名称	数量	摘要
V1 機械掘削	0.720m ³	
V2 掘削面整形	0.500m ²	
V3 埋戻転圧(敷~管上)	0.088m ³	人力(砂基礎)
V4 埋戻転圧(管上~路盤)	0.245m ³	機械(良質発生土:浅間砂)
V5 残土処理	0.448m ³	V1-(V4*1.11)

取壊し数量 m当り

名称	数量	摘要
舗装カット	2.000m	両側仮復旧
舗装カット	1.000m	片側本復旧
舗装取壊し(t=3cm)	0.500m ²	仮復旧
舗装取壊し(t=5cm)	3.500m ²	本復旧

舗装復旧数量 m当り

名称	数量	摘要
表層本復旧(t=5cm)	3.500m ²	再生密粒アスコン
表層仮復旧(t=3cm)	0.500m ²	再生密粒アスコン
上層復旧(t=17cm仮復旧時)	0.500m ²	粒調30~0
下層復旧(t=19cm)	0.500m ²	再生砕石RC-40
置換工(t=42cm)	0.210m ³	浅間砂

*土工数量については土被高1.30mで計算(平均値として)

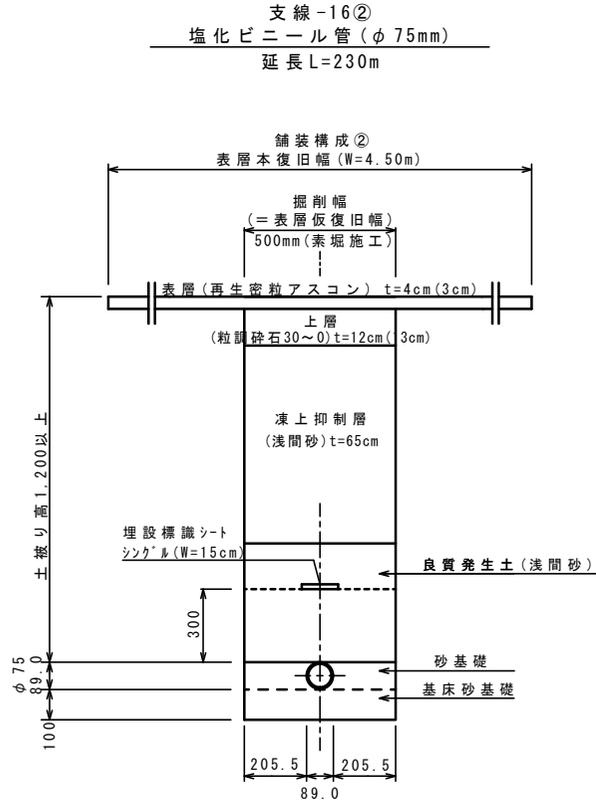
図面の名称	埋設タイプ
標準断面図(支線-16①) 土工断面図(φ75区間) 【AS舗装道路】	17

標準断面図

支線-16②

土工断面図(φ75区間)

【AS舗装道路】



土工数量 左図より算出 m当り

名称	数量	摘要
V1 機械掘削	0.725m ³	
V2 掘削面整形	0.500m ²	
V3 埋戻転圧(敷~管上)	0.088m ³	人力(砂基礎)
V4 埋戻転圧(管上~路盤)	0.425m ³	機械(良質発生土:浅間砂)
V5 残土処理	0.453m ³	V1-(V4*1.11)

取壊し数量 m当り

名称	数量	摘要
舗装カット	2.000m	両側
舗装取壊し(t=3cm)	0.500m ²	仮復旧
舗装取壊し(t=4cm)	4.500m ²	本復旧

舗装復旧数量 m当り

名称	数量	摘要
表層本復旧(t=4cm)	4.500m ²	再生密粒アスコン
表層仮復旧(t=3cm)	0.500m ²	再生密粒アスコン
上層復旧(t=13cm仮復旧時)	0.500m ²	粒調30~0
凍上抑制層(t=65cm)	0.325m ³	浅間砂

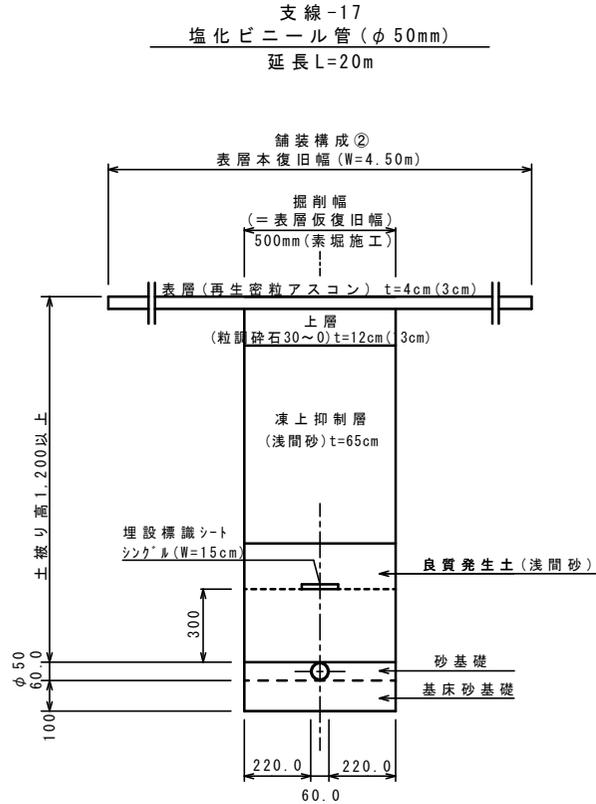
※土工数量については土被高1.30mで計算(平均値として)

図面の名称	埋設タイプ
標準断面図(支線-16②) 土工断面図(φ75区間) 【AS舗装道路】	18

標準断面図 支線-17

土工断面図(φ50区間)

【AS舗装道路】



土工数量 左図より算出 m当り

名称	数量	摘要
V1 機械掘削	0.710m ³	
V2 掘削面整形	0.500m ²	
V3 埋戻転圧(敷~管上)	0.077m ³	人力(砂基礎)
V4 埋戻転圧(管上~路盤)	0.245m ³	機械(良質発生土:浅間砂)
V5 残土処理	0.438m ³	V1-(V4*1.11)

取壊し数量 m当り

名称	数量	摘要
舗装カット	2.000m	両側
舗装取壊し(t=3cm)	0.500m ²	仮復旧
舗装取壊し(t=4cm)	4.500m ²	本復旧

舗装復旧数量 m当り

名称	数量	摘要
表層本復旧(t=4cm)	4.500m ²	再生密粒アスコン
表層仮復旧(t=3cm)	0.500m ²	再生密粒アスコン
上層復旧(t=13cm仮復旧時)	0.500m ²	粒調30~0
凍上抑制層(t=65cm)	0.325m ³	浅間砂

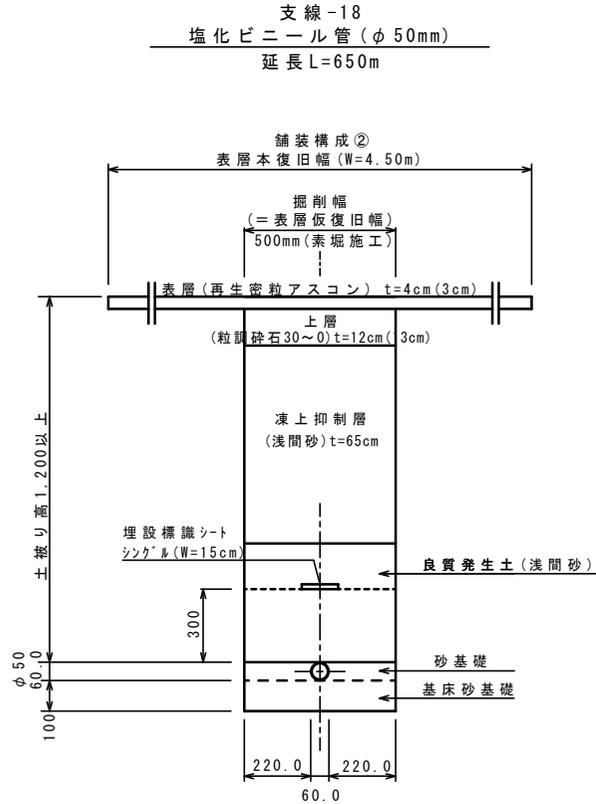
※土工数量については土被高1.30mで計算(平均値として)

図面の名称	埋設タイプ
標準断面図(支線-17) 土工断面図(φ50区間) 【AS舗装道路】	19

標準断面図 支線-18

土工断面図(φ50区間)

【AS舗装道路】



土工数量 左図より算出 m当り

名称	数量	摘要
V1 機械掘削	0.710m ³	
V2 掘削面整形	0.500m ²	
V3 埋戻転圧(敷~管上)	0.077m ³	人力(砂基礎)
V4 埋戻転圧(管上~路盤)	0.245m ³	機械(良質発生土:浅間砂)
V5 残土処理	0.438m ³	V1-(V4*1.11)

取壊し数量 m当り

名称	数量	摘要
舗装カット	2.000m	両側
舗装取壊し(t=3cm)	0.500m ²	仮復旧
舗装取壊し(t=4cm)	4.500m ²	本復旧

舗装復旧数量 m当り

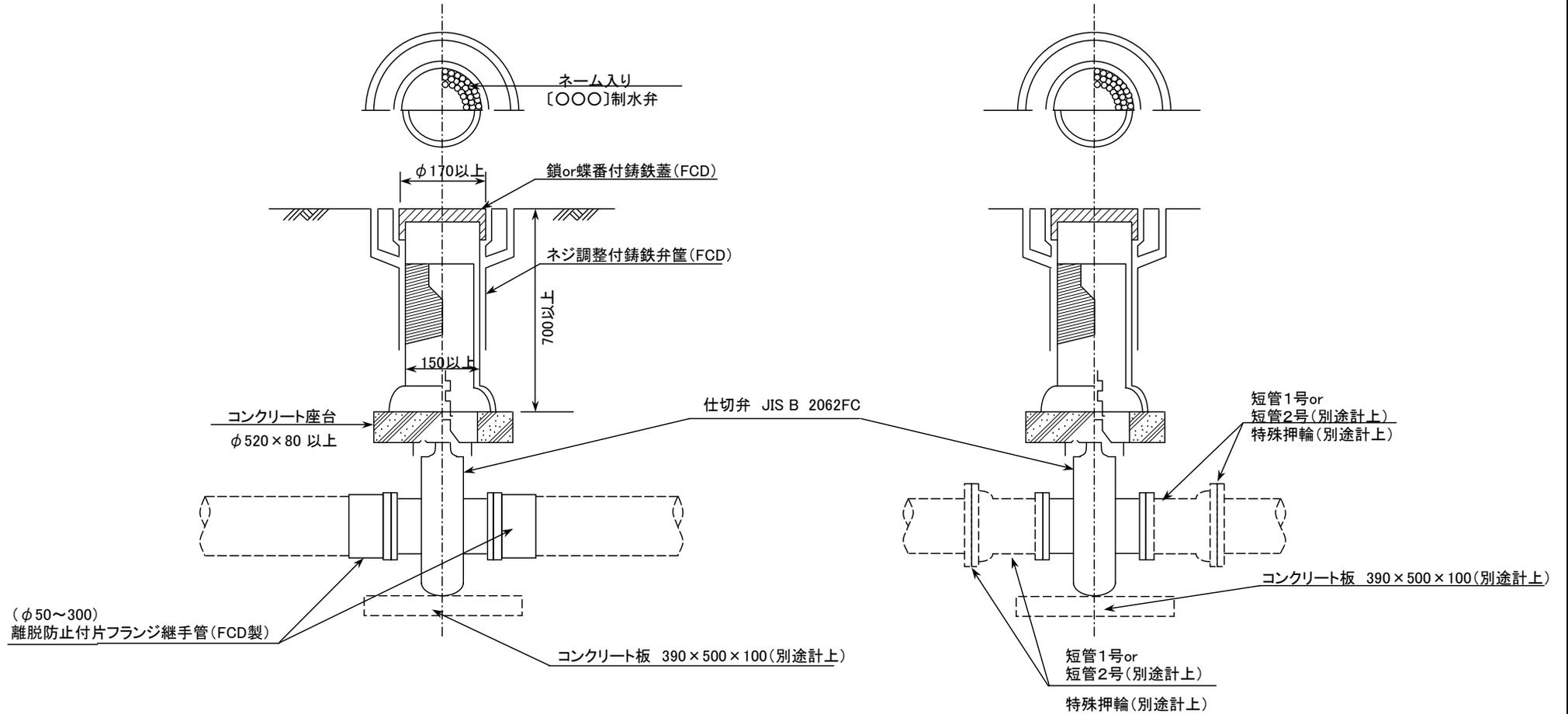
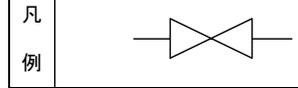
名称	数量	摘要
表層本復旧(t=4cm)	4.500m ²	再生密粒アスコン
表層仮復旧(t=3cm)	0.500m ²	再生密粒アスコン
上層復旧(t=13cm仮復旧時)	0.500m ²	粒調30~0
凍上抑制層(t=65cm)	0.325m ³	浅間砂

※土工数量については土被高1.30mで計算(平均値として)

図面の名称	埋設タイプ
標準断面図(支線-18) 土工断面図(φ50区間) 【AS舗装道路】	20

塩ビ管路

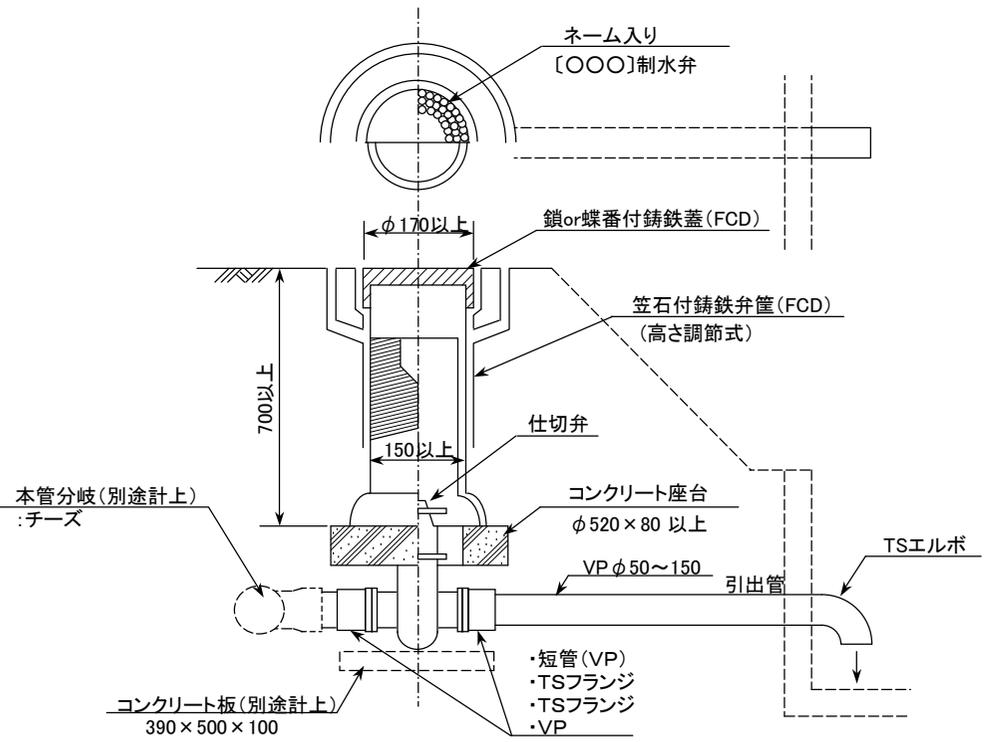
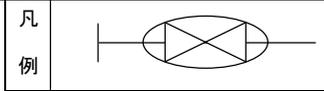
ダクタイトル管路



	種別	規格	単位	塩ビ管路	ダクタイトル管路	備考
本體工	仕切弁	JIS B 2062FC	ヶ	1	1	
	離脱防止付片フランジ継手管 (FCD製)		〃	2	—	
保護工	弁筐	鑄鉄製	式	1	1	座台共
		90×90×600	本	—	—	必要により設置

- 注)
1. 回転方向は、「の締め」とする。
 2. 弁筐天端は、路面と一致するよう管理設深を調整する。
 3. 制水弁の上流直管は切り管を使用せず、1本物を使用することを原則とする。また、離脱防止金具は設計条件を検討し、使用個数を定めること。

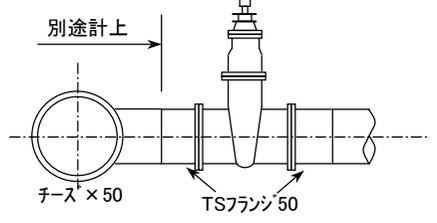
図面の名称	図面番号
制水弁 (仕切弁)	2



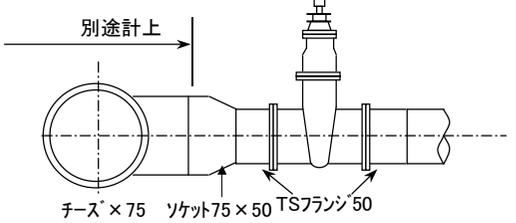
種別・規格	単位	排泥弁φ50	排泥弁φ75	排泥弁φ150	排泥弁φ150	備考		
		本管・塩ビ φ150以下	本管・塩ビ φ200~φ300	本管・ダクタイル φ350~φ400	本管・ダクタイル φ450~φ600			
本體工	制水弁	φ 50	1(1)			塩ビ		
		φ 75		1		塩ビ		
		φ 150			1	1	FC製	
	塩ビ管	VP φ 50	3(3)					
		VP φ 75		3				
		VP φ 150			2	2		
	TSエルボ	φ 50	1(1)					
		φ 75		1				
	TSフランジ	φ 150			1	1		
		φ 50	2(2)					
φ 75			2					
ソケット	φ 150			1	1			
	φ 75 × φ 50	(1)						
	φ 150			1	1			
	φ 200 × φ 150				1			
	φ 150				1			
特殊押輪	φ 200				1			
	φ 150			1	1			
保護工	弁筐	鑄鉄製	式	1(1)	1	1	1	座台共

(注) 1. ()は、φ125mm or φ150mm—塩ビ製の場合。
2. ダクタイル管の場合は、特殊押輪で接合すること。

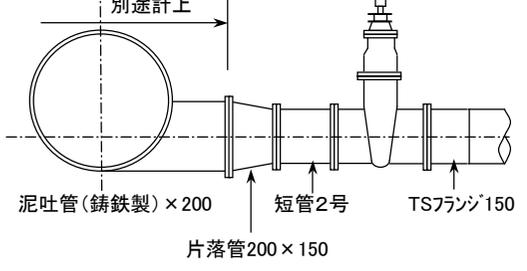
・本管φ100mm以下—塩ビ製φ50



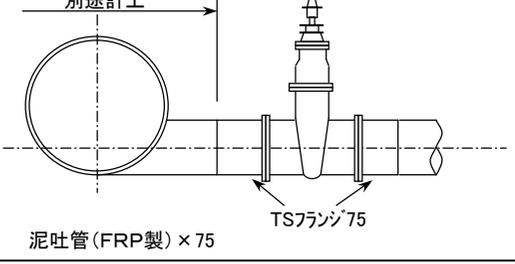
・本管φ125orφ150mm—塩ビ製φ50



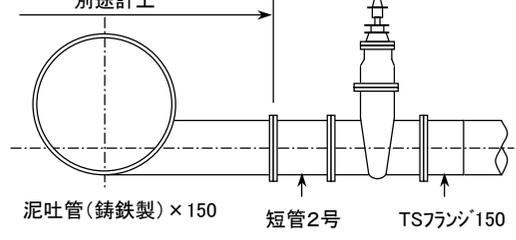
・本管φ450~φ600mm—ダクタイル製φ150



・本管φ200~φ300mm—塩ビ製φ75



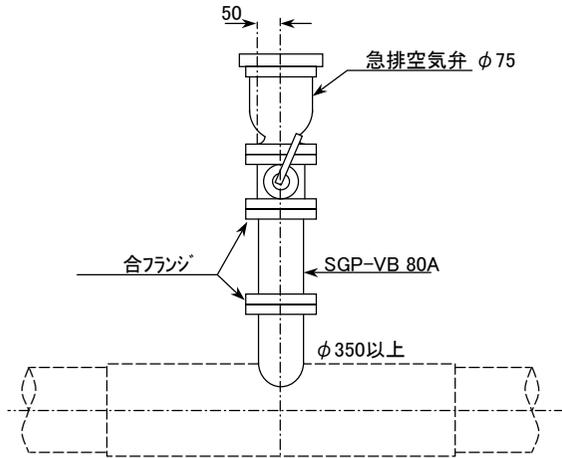
・本管φ350~φ400mm—ダクタイル製φ150



図面の名称	図面番号
排泥弁	3

大型空気弁
(φ 350mm以上)

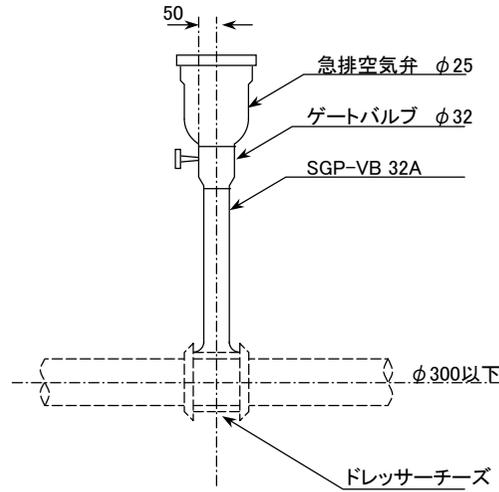
路面用



1フランジT字管×75(FRP製) 埋込管路 (別途計上)
1フランジT字管×75(鑄鉄製) or 仕切弁副管(鑄鉄製) (別途計上)

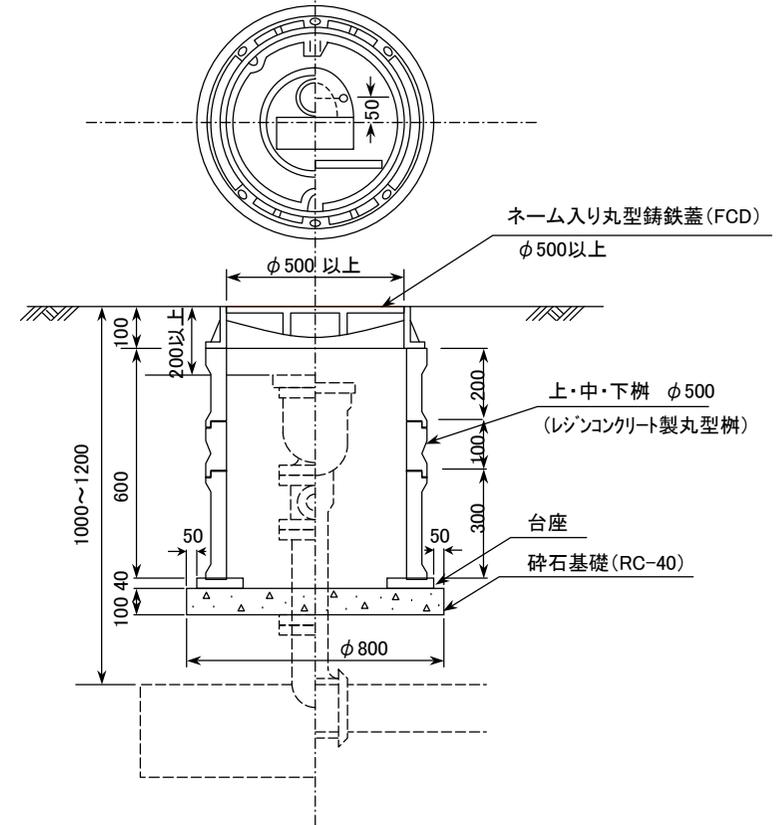
小型空気弁
(φ 300mm以下)

路面用



空気弁保護工(路面用)

凡	大型	-----□-----
例	小型	-----□-----



	名称	規格	単位	数量
本 体 工	急排空気弁	(JIS B 2063) 副弁付	台	1
	SGP-VB	80A	m	0.25
	合フランジ	80φ 上水規格	枚	2
	取付付属品		式	1

	名称	規格	単位	数量
本 体 工	急排空気弁	25φ	台	1
	SGP-VB	32A	m	0.5
	ゲートバルブ	32φ	ヶ	1
	取付付属品	ブッシング等	式	1

名称	単位	数量		摘要
		T-14	T-25	
鑄鉄蓋	式	1	—	
レジンコン樹	〃	—	1	
レジンコン樹	〃	1	1	φ 500 台座+上樹+下樹
碎石基礎	m ²	0.500	0.500	RC-40 t=10cm
標示杭	本	—	—	9×9×60cm(ネーム入)

図面の名称	図面番号
空気弁	4

適用区分

空気弁口径の選定に当たっては下表を目安とする。

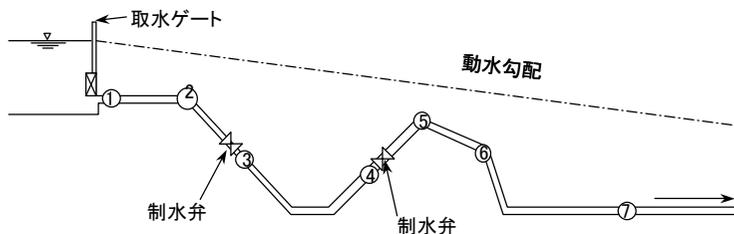
管径 (mm)	空気弁の呼び径(mm)			管径 (mm)
	急速	双口	単口	
75	25		13	75
100			100	
150			20	250
200				
250			25	300
300	300			
350	350			
400	75	100	75	400
450				450
500				500
600				600
700				700

(注) φ400mm未満の管径に対する適用空気弁口径は、管径の1/5~1/8程度を目安としている例が多い。

注意事項

通気施設を設置するに当たっての基本的な考え方は次に示すとおりである。

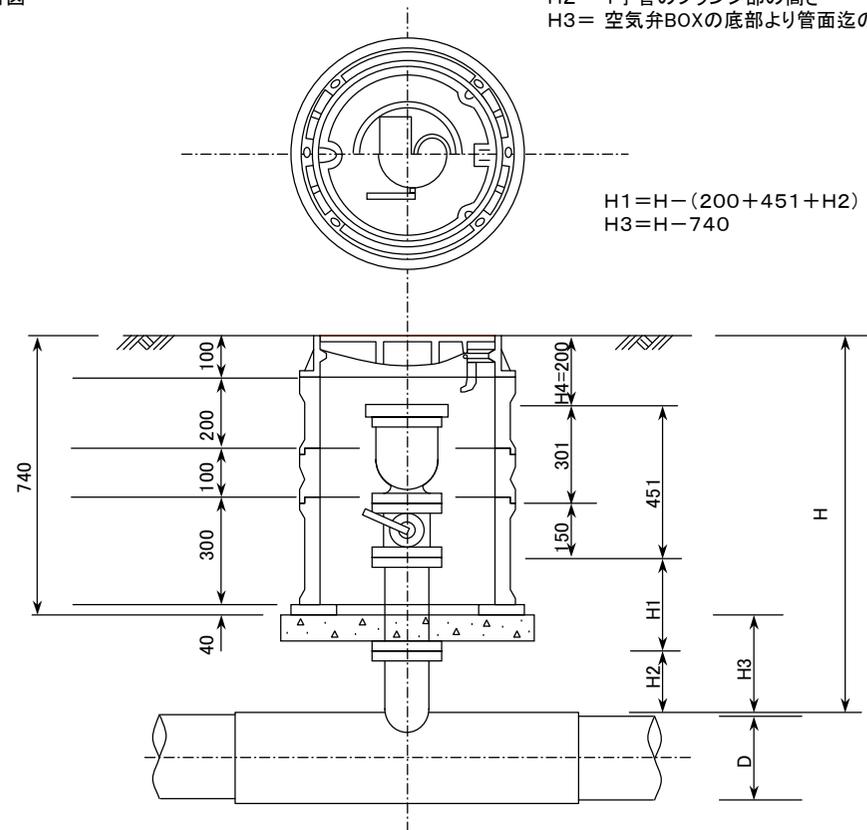
- ① 配水槽あるいはスタンドの下流に設ける。(通常低圧のため通気スタンドとする)
- ② 平坦な勾配から急に下り勾配になる地点に設ける。
- ③ 下り勾配の路線に設けられた制水弁の直下流に設ける。
- ④ 上り勾配の路線に設けられた制水弁の直上流に設ける。
- ⑤ 路線内の高位部に設ける。
- ⑥ 下り勾配でも管路勾配が変化している地点で、検討の結果必要な地点に設ける。
- ⑦ 路線の起伏のない直線区間でも、延長が長いときは400~500mに1ヶ所程度設置することが望ましい。



算出基礎

大型空気弁取付図

H1 = 調整管の高さ
H2 = T字管のフランジ部の高さ
H3 = 空気弁BOXの底部より管面迄の高さ



$$H1 = H - (200 + 451 + H2)$$

$$H3 = H - 740$$

管上深 1000 の場合

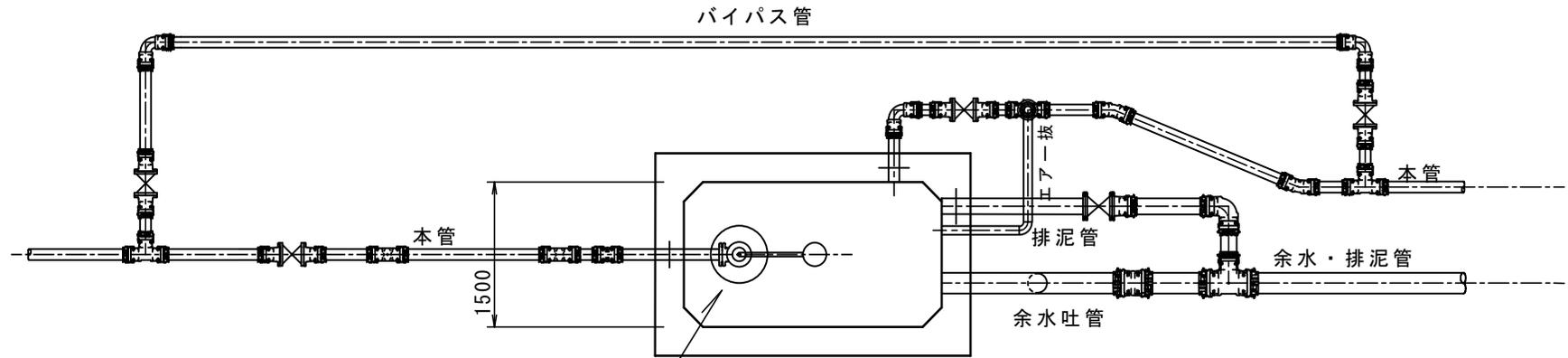
D	H1	H2	H3	管種
200	203	146	260	塩ビ管
250	203	146	''	''
300	174	175	''	''
350	156	193	''	铸铁管
400	242	107	''	''
450	247	102	''	''
500	253	96	''	''
600	254	95	''	''
700	236	113	''	''

管上深 1200 の場合

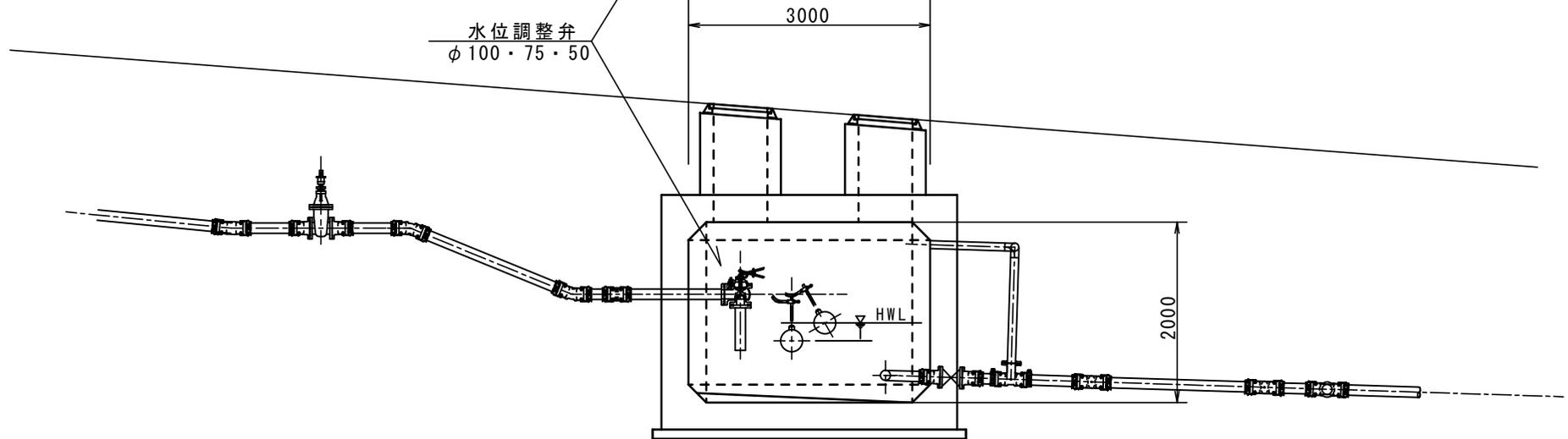
D	H1	H2	H3	管種
200	403	146	460	塩ビ管
250	403	146	''	''
300	374	175	''	''
350	356	193	''	铸铁管
400	442	107	''	''
450	447	102	''	''
500	453	96	''	''
600	454	95	''	''
700	436	113	''	''

図面の名称	図面番号
空気弁	4-1

平面図

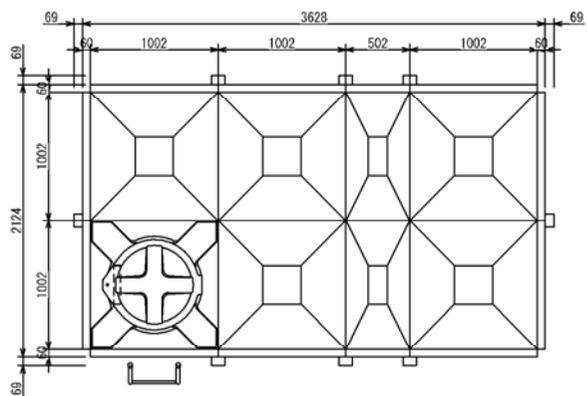


側面図

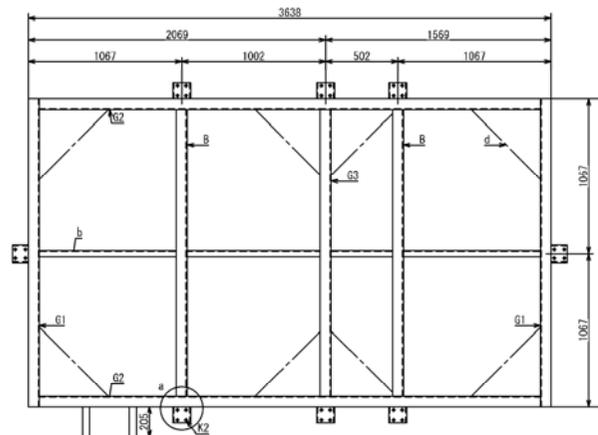


図面の名称	図面番号
減圧水槽標準構造図	5

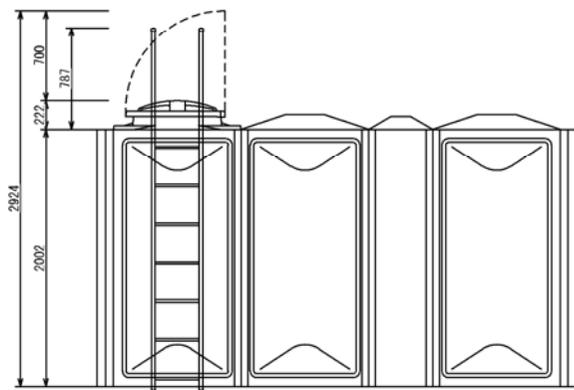
平面図



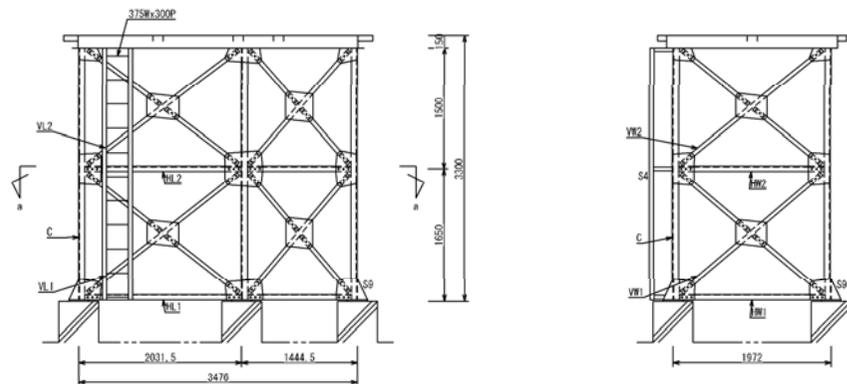
架台平面図



側面図

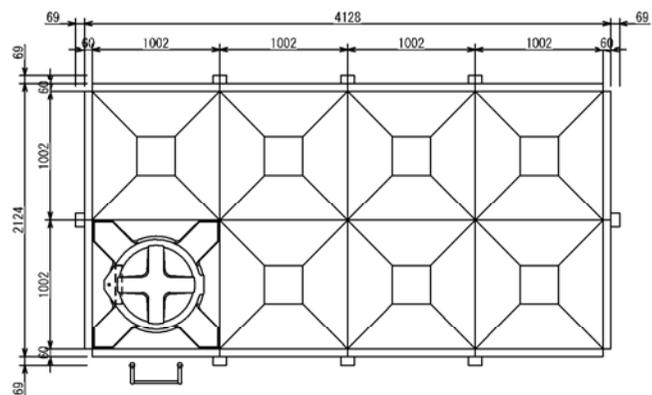


架台側面図

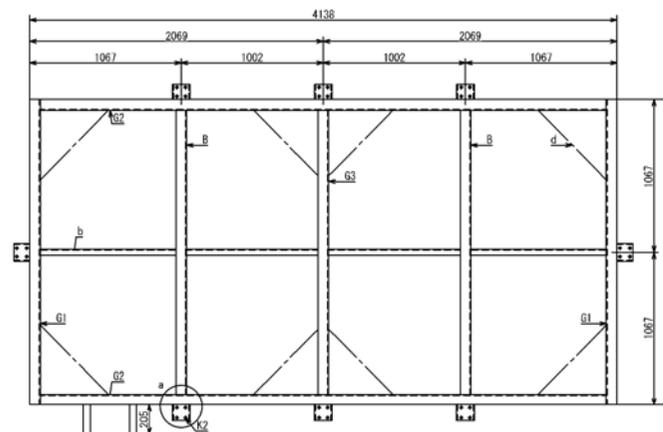


図面の名称	図面番号
受水槽標準構造図(14t)	6(1)

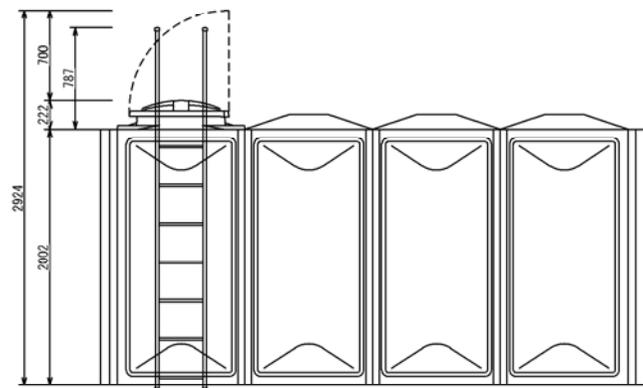
平面図



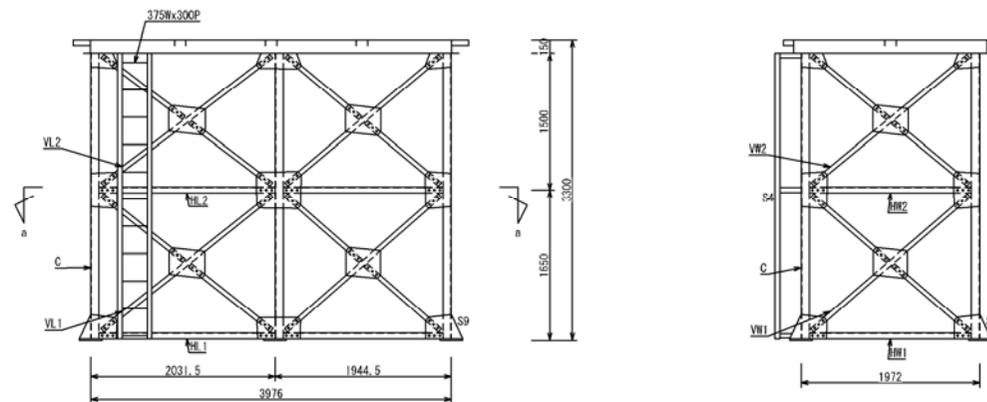
架台平面図



側面図

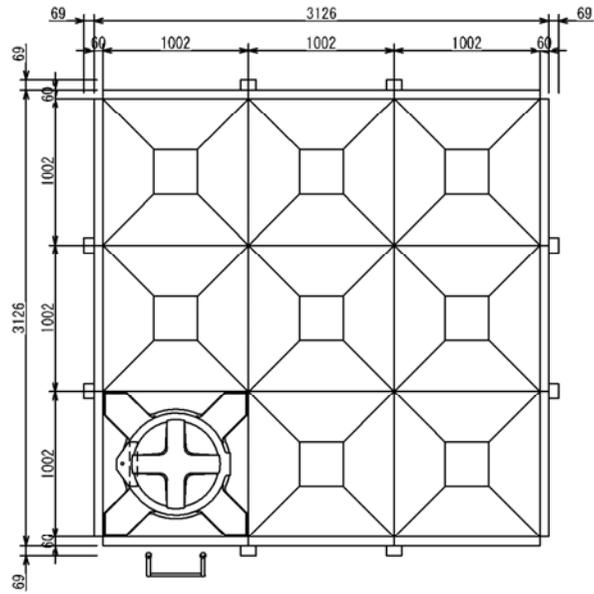


架台側面図

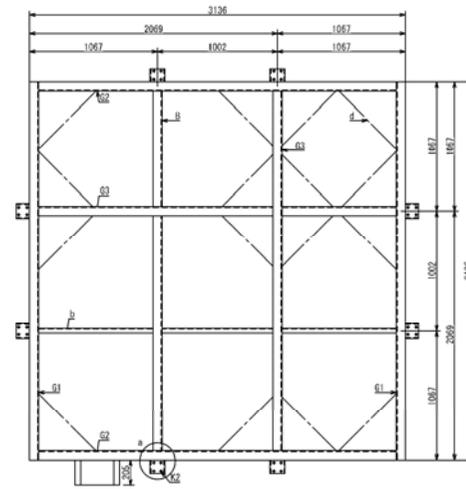


図面の名称	図面番号
受水槽標準構造図(16t)	6(2)

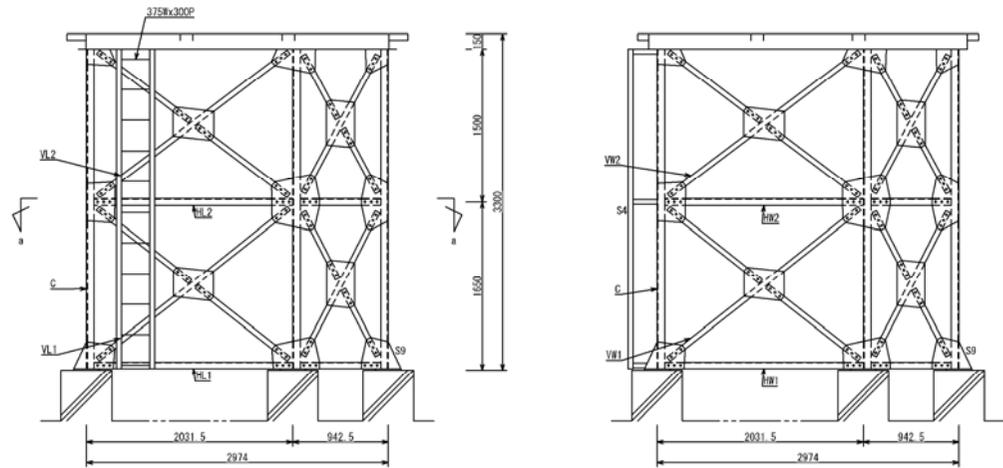
平面図



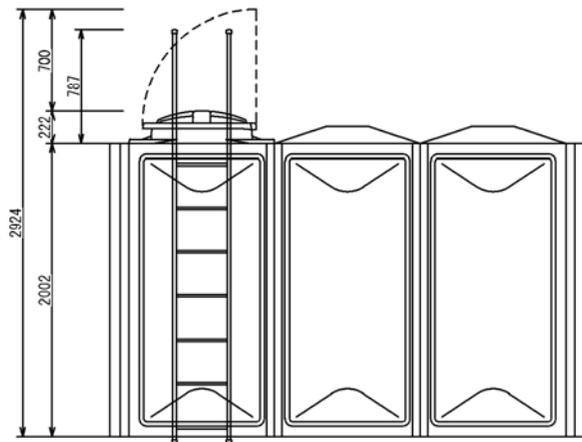
架台平面図



架台側面図



側面図



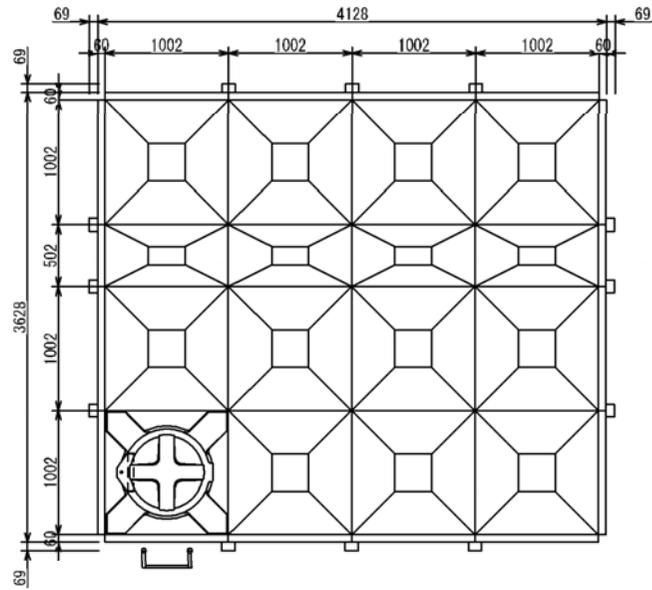
図面の名称

図面番号

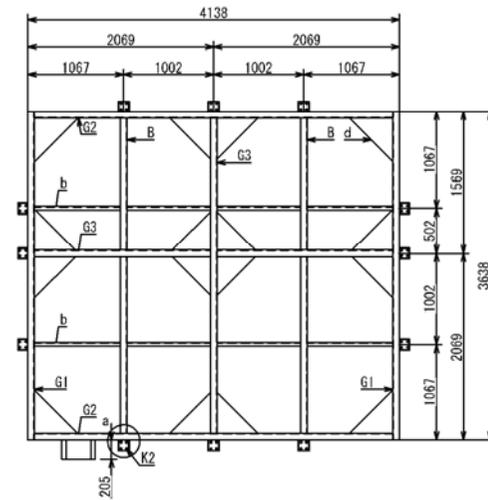
受水槽標準構造図(18t)

6(3)

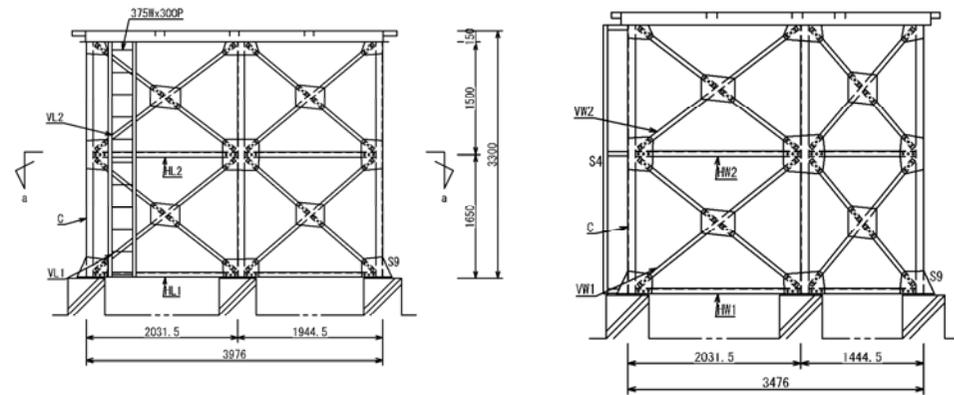
平面図



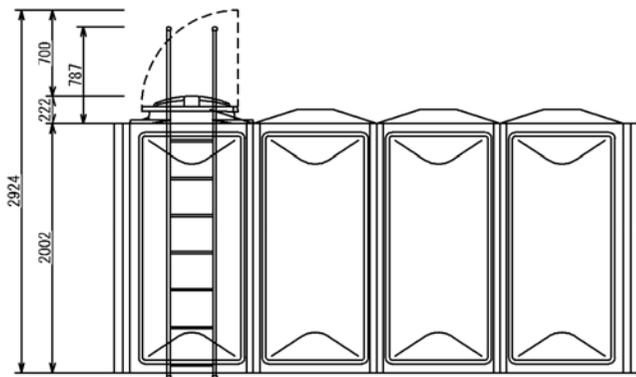
架台平面図



架台側面図



側面図



26tについては、製品の組み合わせに条件により28tでの対応とする。

図面の名称	図面番号
受水槽標準構造図(26t)	6(4)